

平成 28 年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果の概要について

岩手県教育委員会
平成 28 年 12 月

平成 28 年 10 月 12 日に実施された学習定着度状況調査結果の概要がまとまったので公表する。

なお、分析委員会において、詳しい分析を行い、12 月末日を目処に報告書としてまとめ、ホームページに掲載する。

1 調査についての基本的な考え方

各小・中・義務教育学校において児童生徒一人一人の学習の定着状況を把握し、その結果を基に指導の充実を図る。

また、全県的な規模で学習の定着状況を把握するとともに、明らかになった学習指導上の問題点を教育施策に反映させることにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査の内容

【調査実施日】

平成 28 年 10 月 12 日（水）

【調査対象】

(1) 小学校及び義務教育学校第 5 学年

国語・算数・理科・社会

(2) 中学校第 2 学年及び義務教育学校第 8 学年

国語・社会・数学・理科・英語

(3) 小・中・義務教育学校共通（調査対象学年は教科調査と同じ）

児童生徒質問紙調査

学校質問紙調査（全公立小・中・義務教育学校で実施）

【調査人数】

(1) 小学校及び義務教育学校第 5 学年（332 校）

（5 年生児童のいない 4 つの小学校を除く全公立小学校及び義務教育学校 328 校で実施）

国語（9,783 人） 算数（9,768 人） 理科（9,771 人）

社会（9,768 人） 質問紙（9,685 人）

(2) 中学校第 2 学年及び義務教育学校第 8 学年（164 校）

（2 年生生徒のいない 2 つの中学校を除く全公立中学校及び義務教育学校 162 校で実施）

国語（10,628 人） 社会（10,619 人） 数学（10,613 人）

理科（10,616 人） 英語（10,619 人） 質問紙（10,610 人）

【出題の方針】

(1) 全体に係る出題方針

ア 現行学習指導要領における基礎・基本の定着度を見るよう出題する。

（岩手県教育委員会における「基礎・基本」の捉えを踏まえる。すなわち、読み・書き・計算といった学習基盤及び各教科等における基礎的・基本的な知識技能とともに、その知識や技能を活用して自らの人生を切り開いていくために必要な思考力、判断力、表現力等の定着を目指す。）

- イ 全領域を調査できるようにする。(英語の「話すこと」を除く。)
- ウ 観点を明確にして作題する。(「関心・意欲・態度」は扱わない。)
- エ 過去の調査において、課題があるとされた内容についてその改善状況を把握したり、定着が図られているとされた内容について現在も維持できているかどうかを把握したりするために、経年比較の問題を2～3割程度以上出題する。
- オ 全国学力・学習状況調査における「主として活用に関する問題」で扱われている「出題の趣旨」に類する問題を、全調査教科において1～2割程度出題する。

(2) 経年比較問題について

- ア 経年比較問題は、過去の県学調等で課題が明らかとなった問題等を基に、次の類似問題または同趣旨の問題の形で作成する。
 - ① 類似問題：過去に出題した問題の数値を差し替えたり、選択肢の一部を変更したりするなど、問題文の一部分のみを変更して、同じ内容を問う問題。
 - ② 同趣旨の問題：過去に出題した問題と同じ力を測るための問題で、問題文や内容は異なるが、問い方、答え方が同じで、難易度も同程度と考えられる問題。
- イ 教科の特性を考慮しながら、各学年・各教科において、上記①、②の問題を、それぞれ0～2割程度、合計で2～3割程度以上出題する。
- ウ 経年比較問題は、平成23年度～平成27年度の過去5年間の県学調等における調査の結果、課題が明らかになった問題等を基に作成する。
- エ 同一集団の経年比較を行うために、可能な教科については、小学校在学時の県学調や全国学調で課題が見られた問題を取り出し、類似問題を出題する。
- オ 4月の全国学調と関連させた分析が可能となるよう、全国学調の出題状況を分析の上、課題と見られる内容について、同年度の県学調で出題する。
- カ 各教科において選定した一部問題については、出題意図、過去の調査時の平均正答率、指導のポイントなどをまとめた解説資料を、解答例と一緒に各学校に提示する。
- キ 経年比較問題は、結果を取り出して分析・考察を行う。

(3) 活用問題について

- ア 県学調において、下に示す全国学調の「活用問題」の趣旨を踏まえた問題を、各学年・各教科において、それぞれ1～2割程度出題する。
- イ 全国学調の活用問題の作成に係る基本理念には、「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力などに関わる内容」と記述されている。すなわち、学校で学習してきた知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面において、活用できることが求められている。

3 教科調査結果の概要

※以下、小学校第5学年に義務教育学校第5学年を、中学校第2学年に義務教育学校第8学年を含む。

(1) 教科調査結果の状況等

ア 成果

- ① 多くの教科において、正答数が極端に少ないグラフ左端の層がほとんどいない。
- ② 小学校の正答数の分布状況を見ると、グラフ右側に山があり概ね良好である。
- ③ 中学2年の国語では、昨年度より中央の山が右に移動し、改善傾向が見られた。

イ 課題

- ① 正答数が多いグラフ右端の層が薄い状況である。これは、全国学力・学習状況調査の結果と同じ傾向であり、中央値付近の児童生徒をさらに右側の層に押し上

げるような指導を工夫する必要がある。

- ② 中学2年の英語や理科，社会では，山がグラフの左側にあり，それらの原因について各小問の状況など細かな分析を行っていく必要がある。
- ③ それぞれの教科において無解答率の高い問題が見られ，特に中学2年の数学や社会では，説明をする問題についての無解答率が2～3割となっている。児童生徒に対して，問題文の内容をしっかりと捉えて解答できるよう読解力を高めたり，複数の資料から情報を適切に読み取らせたり，関連付けて考えさせたりする指導を単元計画の中に位置付けて意図的に取り組ませる必要がある。また，根拠（資料）の取り上げ方が不十分であってもそれまでの考え方を認め，より一層正しい解答に迫るために必要な根拠（資料）や表現を考えさせながら徐々に説明の精度を高めるなど，最後まであきらめずに自分の考えを記述させるような日常の指導が大切である。

※各教科の分析については，今後，報告書の中に記載する。

(2) 経年比較問題の状況等

過去の調査において課題が見られた問題等について，その改善状況を把握するために，経年比較問題を出題している。これらは，過去に出題された問題の類題（同一問題ではなく，同構造同内容の問題）で，各教科とも2～3割程度出題している。

各教科における経年比較問題の状況

()内は昨年度数値

教科	学年	経年比較 問題数	課題状況の改善が 見られた問題	改善傾向が見られたが引き続き注視 が必要な問題	依然として課題が 継続している問題
国語	小5	6 (6)	2 (1)	1 (0)	3 (5)
	中2	6 (6)	3 (1)	1 (2)	2 (3)
算数 数学	小5	8 (11)	4 (0)	2 (3)	2 (8)
	中2	8 (9)	0 (0)	3 (3)	5 (6)
英語	中2	6 (7)	1 (1)	1 (4)	4 (2)
理科	小5	7 (12)	2 (7)	3 (1)	2 (4)
	中2	9 (13)	1 (2)	1 (4)	7 (7)
社会	小5	9 (8)	5 (3)	0 (1)	4 (4)
	中2	9 (9)	1 (0)	2 (5)	6 (4)
全体		68 (81)	19 (15)	14 (23)	35 (43)

※「課題状況の改善が見られた問題」とは，前回調査より大きく正答率が伸び，概ね満足できる状況にある問題を指す。

※「改善傾向が見られたが引き続き注視が必要な問題」とは，前回調査より正答率が5ポイント以上伸びたが，まだ満足できる状況とは言えない問題を指す。

※「依然として課題が継続している問題」とは，前回調査からの正答率の伸びが5ポイント未満の問題を指す。

ア 成果

- ① 経年比較問題全体の状況を見ると，課題状況が改善されたのが28%（昨年度19%），改善傾向が21%（昨年度28%）となっている。
- ② 小学5年の算数と社会では，課題状況が改善された問題が半数以上あり，課題に対応した学習指導による改善が図られた。

イ 課題

- ① 課題が継続しているものが5割以上という状況にある。調査結果を当該年度の課題としてのみ受け止めるのではなく，毎年継続している課題であるということ認識するとともに，当該年度の児童生徒に対する補充指導だけではなく，日常の授業改善や指導計画の見直しに反映させる取組にすることが必要である。
- ② 「複数の資料を読み取って考察し，説明すること」や「判断の理由について根拠を明らかにして説明すること」について課題が継続している。学校全体として，言語活動の充実を図りながら課題状況の改善に取り組むことが大切である。

(3) 今後の学習指導の改善に向けて

- ア 諸調査問題を全教員が解いてみる機会を設定するなど、今求められている学力についての理解を深め、日常の授業を核とした取組を推進することが必要である。
- イ 調査結果について、学校全体で教育活動を改善するために積極的に活用するとともに、全職員が当事者として共通実践に取り組む必要がある。
- ウ 学年や校種、教科を越えて課題がつながっているものもあり、小問分析から見えた課題を共有し、学習指導における解決策を探るとともに、教科指導と併せて学校組織として課題を積み残さない取組が求められる。
- エ 取組の結果として検証を行い、成果や課題を明らかにして次年度へつなげることが求められる。

課題の改善傾向が見られた問題の例①

H28 県学調【中学2年社会】

複数資料を読み取り社会的事象の特色について条件をふまえて説明する

将来の日本の人口とその年齢別構成について、次のグラフA、Bからどのようなことが推測できますか。解答欄に合わせて、「人口の変化」と「年齢別人口の割合の変化」の両方にふれて説明しなさい。 ⑬

グラフA 日本の人口の推移

(人)

1億3000万
1億2000万
1億1000万
1億
0

1970 80 90 2000 10 14(年)

(総務省統計局資料から作成)

グラフB 年齢別人口の割合の変化

	0～14歳	15～64歳	65歳以上
1970年	23.9%	69.0	7.1
1980年	23.5%	67.4	9.1
1990年	18.2%	69.7	12.1
2000年	14.6%	68.1	17.4
2010年	13.2%	63.8	23.0
2014年	12.8%	61.2	26.0

0 20 40 60 80 100(%)

(総務省統計局資料から作成)

正答率 54%

日本の人口に関する複数の資料を読み取り、その特色について考察し、条件をふまえて説明する問題である。本年度正答率は54%（経年比較問題は、昨年度40%、一昨年度31%）であり、中学校社会科の指導として改善傾向が見られている。

岩手県教育委員会が示している平成28年度学校教育指導指針では、授業改善の重点として、目的を明確にして各分野の特質に応じた「言語活動」を充実させることを示しており、地理的分野において、積極的に地図や統計資料を活用し、事象を読み取ったり解釈したりする学習が行われていると考えられる。今後も指導と評価の一体化を進めるためにも、定期テストの問題等においても、資料に基づいて社会的事象の特色や影響、理由等を考える「思考を問う」問題づくりを意識して進めていく必要がある。

課題の改善傾向が見られた問題の例②

H28 県学調【中学2年英語】

長文の概要・要点を理解する

次は、中学生のアヤカ(Ayaka)が英語の授業でスピーチをすることになり、そのために書いた原稿です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

What's your *dream for the *future? What do you *want to be? My father asked me on my birthday, "What do you want to be in the future?" I said, "I don't know." He said, "You should think about your future. This is very important. Think about your favorite things. I think it's the first step to your future."

That night, I remembered my father's *words. "What do I like?" I like animals. They are very interesting. I want to know a lot about them.

The next month, I joined *Animal Watching Program with the other seven students at the zoo. Ms. Suzuki is a *zookeeper there and *taught us about animals. I saw many kinds of animals and learned a lot about animal *life. When I saw an old lion, Ms. Suzuki came to me and said, "The lion is very *weak, and he sleeps almost all day. So I watch him carefully and talk to him a lot every day. I think he can *understand me"

Now I learn about *the way to work with animals. The visit to the zoo was a good chance for me. (189語)

dream : 夢 future : 将来 want to ~ : ~したい word : ことば
Animal Watching Program : 動物観察プログラム zookeeper : 飼育員
taught : teach(教える)の過去形 life : 生態
the way to work with ~ : ~の世話をする方法 weak : 衰弱した
understand : 理解する

このスピーチにつけるタイトルとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選び、その記号を書きなさい。

- 1 A Lion
- 2 Animal Watching Program
- 3 The First Step to Your Future
- 4 A Zookeeper

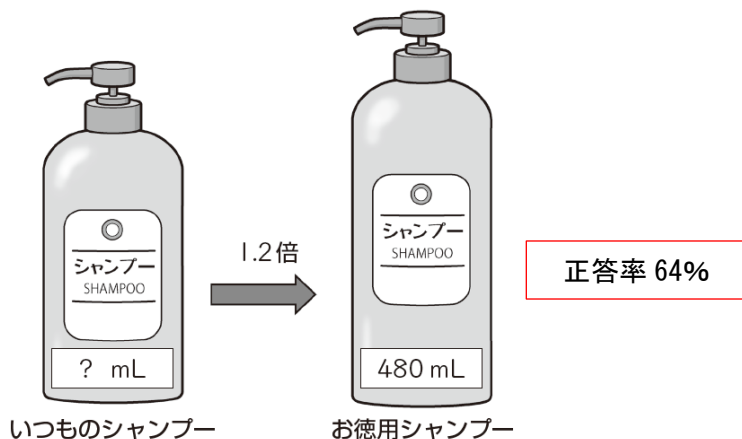
県正答率 49% (昨年度類題正答率 34%)

まとまりのある英文を読んで文章全体の概要や要点をとらえる問題について、昨年度までの課題として、選択肢と部分的に共通する英語を含むものを誤って選択したり、長文の前半部分の内容のみをもとに判断してしまうなどの傾向が見られたことから、引き続き出題した。今年度の正答率は49%で、まだ満足できる状況とは言えないが、前年度の類似問題の正答率を15ポイント上回り、改善傾向が見られた。生徒質問紙において「まとまりのある英文を聞いたり読んだりして文章全体の概要や要点をとらえる活動をしている」という肯定的な回答をした生徒の割合が84%と、昨年度より増加しており、各校において「まとまりのある英文」を授業で積極的に扱うなど、英語の読解能力を高める指導に工夫して取り組んできた成果と考えられる。

課題の改善傾向が見られた問題の例③ (全国学力・学習状況調査との関連)

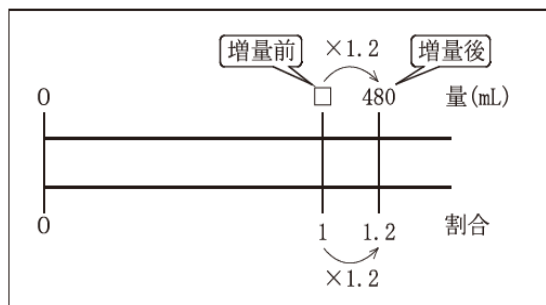
H28 県学調【小学5年算数】 比較量と小数倍から基準量を求めることができる

7 みなえさんは、スーパーでシャンプーを買います。いつものシャンプーが、お徳用シャンプーとして、1.2倍の量で売られていました。お徳用シャンプーの量は480 mLです。いつものシャンプーの量は何 mLですか。 ⑬



平成 27 年度全国学力・学習状況調査 B² (2) で割合の理解に課題が指摘されており、その関連問題として、報告書の「学習指導に当たって」を踏まえ、「20%増量」を「1.2倍」に変えて出題したものである。本問題の正答率は64%で、課題はあるものの、ある程度の児童が比較量と小数倍から基準量を求めることができる。

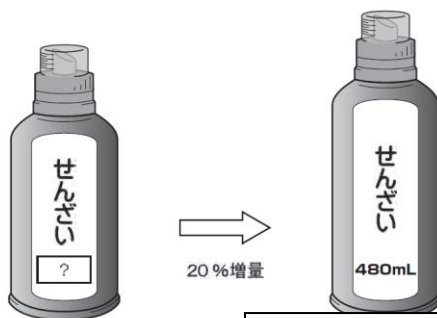
したがって、例えば、いつものシャンプーの量を□mLとして、1.2倍の量が480mLであることを、右の図のような数直線などに表すことを通して、「□の1.2倍が480だから、式は、□×1.2=480になる。」というように数量の関係を整理して捉えた上で、基準量を求めることができるようにすることが大切である。



そして、このような学習状況を踏まえて、割合の学習では、「1.2倍の量」を「20%増量」とした際に、児童が統一的に考えられるような活動を位置付けることが必要である。

<参考> 平成 27 年度全国学力・学習状況調査 小学校算数 B² (2)

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480 mLです。増量前のせんざいの量は何 mLですか。求める式と答えを書きましょう。



平均正答率 岩手県 9.2% 全国 13.1%

H28 県学調【中学2年数学】

一次関数 ($y = -2x + 3$) の表と式を相互に関連付けて式で表し、その特徴を説明することができる

- 11 次の表は、4つの1次関数について、 x の値と y の値の関係を示したものです。
1次関数は、一般に $y = ax + b$ のように表すことができます。

x	...	-2	-1	0	1	2	...
y	...	5	4	3	2	1	...

→ 式 $y = -x + 3$

x	...	-2	-1	0	1	2	...
y	...	7	6	5	4	3	...

→ 式 $y = -x + 5$

x	...	-2	-1	0	1	2	...
y	...	9	7	5	3	1	...

→ 式 $y = -2x + 5$

x	...	-2	-1	0	1	2	...
y	...	7	5	3	1	-1	...

→ 式 $y = \text{㊶}$

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 上の㊶にあてはまる式を書きなさい。

正答率 72% ^㉞

- (2) 遥さんと沙織さんは、4つの表と式をみて、次のようにいいました。



1次関数の式 $y = ax + b$ の a 、 b の値は、表から読み取ることができます。

遥さん

b の値は、 $x = 0$ のときの y の値を見れば、計算しなくてもわかります。



沙織さん

1次関数の式 $y = ax + b$ の a の値を求めるためには、表からどのようなことを読み取ればよいか説明しなさい。

正答率 41% ^㉞

一次関数については、平成28年度全国学力・学習状況調査A10(2)など、以前から課題が指摘されており、県学習定着度状況調査では平成26年度から単元の一部を出題できるよう出題範囲を見直し、本問題と同様の問題を継続的に出題し、その結果を踏まえて指導改善の取組を進めているところである。

一次関数の表からその特徴を読み取り、2つの数量の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができるかをみる設問(1)の正答率が72%であったことから、本設問のように、一次関数の特徴を帰納的に捉えさせる活動を取り入れることが、指導改善の手立てとして有効であると考えられる。

一方で、一次関数の特徴を、表と式を相互に関連付けて説明することができるかをみる設問(2)の正答率は41%にとどまっていることから、誤答や無解答の生徒の中には、一次関数の特徴を見いだしても、それを適切に表現できなかった生徒がいると考えられる。依然として、教科書内容に加え、一次関数の特徴を表・式・グラフを相互に関連付けながら見いだしたり、生徒の学習状況に応じて柔軟に手立てを工夫したりする指導が不足しているためと考えられる。

H28 県学調【中学2年理科】水溶液の濃度（質量パーセント濃度）を求めることができる

6 図1のように、水10gを入れた試験管A～Dを用意し、それぞれ硝酸カリウムをAに2.5g、Bに5.0g、Cに7.5g、Dに10.0gを入れてよくふり混ぜました。その後、図2のように、80℃まで温度を上げて、硝酸カリウムをすべてときました。このあと、図3のように、冷たい水で試験管A～Dの温度を下げていったところ、結晶が出てきました。そのときの温度をあとの表にまとめました。これについて、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

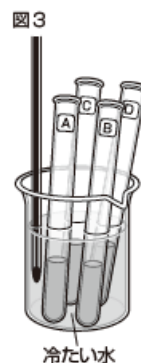
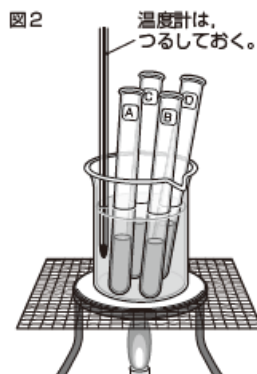
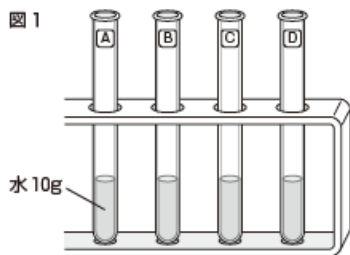


表	A	B	C	D
結晶が出てきたときの温度(℃)	13.5	33.0	46.5	57.6

正答率 13%

(1) Aの水溶液の質量パーセント濃度は何%ですか。

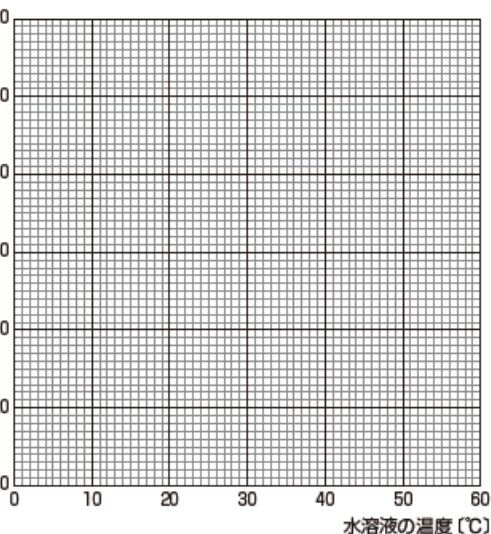
⑬

正答率 16%
無解答率 53%

(2) 表から、100gの水にとける硝酸カリウムの質量と水溶液の温度の関係をグラフに表します。グラフに測定値を点で記入しなさい。(答えは解答用紙に書きなさい。)

硝酸カリウムの質量(g)

(3) 測定値以外の部分も推測できるように(2)のグラフに直線か曲線をかき、グラフを完成させなさい。(答えは解答用紙に書きなさい。)



正答率 5%
無解答率 54%

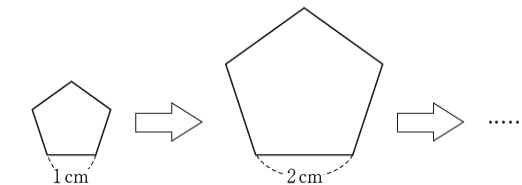
質量パーセント濃度を求める問題は、平成26年度の調査では正答率18%であったが、今年度の調査では正答率13%であった。平成27年度調査では、質量パーセント濃度を求める式を選択で求める問題であったが、その時の正答率は52%であり、実際に計算で求めることが難しい生徒が多いことが改めて明らかとなった。また、実験の結果からグラフを作成する問題では、グラフを完成させることができた割合が5%、無解答率が50%程度あり、表やグラフの作成能力についても課題があることが明らかになった。

割合を求める問題やグラフの作成については、小学校算数・中学校数学との関係が深く、確実な計算技能等を身に付けておくことが求められる。その上で、理科としての用語の意味(溶媒・溶質・質量パーセント濃度等)を確実に理解させることが大事である。

小学校の内容と関連する問題の例

H28 県学調【中学2年数学】2つの数量の関係を、式で表すことができる

(2) 下の表は、正五角形の1辺の長さを x cm、その周の長さを y cm としたときの、 x の値と y の値の関係を示したものです。



1 辺の長さ x (cm)	1	2	3	4
周の長さ y (cm)	5	10	15	20

次の①～④の中に、上の表の x と y の関係を表す式があります。正しいものを1つ選びなさい。

① $y = x + 5$

② $y = 5 - x$

③ $y = 5x$

④ $y = \frac{x}{5}$

正答率 78%

今年度調査対象の生徒が、小学校第6学年当時の平成26年度全国学力・学習状況調査小学校算数A[9]で、2つの数量の関係を□、△などの記号を使って式に表す問題が出題されたことから、小中連携に係る関連問題として出題したものである。

本設問の正答率は78%であるが、小学校第6学年当時との比較では約4ポイント低い結果となっている。①を選択した生徒が13%で、その中には数量の関係は捉えることはできても、「 $x \times 5$ 」と「 $x + 5$ 」を混同しているために誤った生徒がいると考えられる。

比例や反比例、一次関数などの関数について y を x の式で表すことを学習する際には、数量の関係を捉えることができているかと、それを正しく文字式で表すことができているかについて、段階的に見取り、生徒の学習状況に応じて適切な手立てを位置付けることが大切である。

本問題は、中学校数学教員研修会(H28.5.9実施)で取り上げたように、小学校第6学年から学習状況がどのように変化したのかを分析し、小中連携の視点から算数・数学の学習として補充・深化、発展・統合が図られるよう指導改善に取り組むことが大切である。

(4) 活用問題の状況

これまでの県学調や全国学調の結果から、基礎的・基本的な知識技能の活用を図る問題に課題が見られることから、各教科において、活用に関する問題を1～2割程度出題した。

各教科における活用問題の状況

() 内は昨年度数値

教科	学年	問題数	活用問題の平均正答率	教科	学年	問題数	活用問題の平均正答率
国語	小5	5 (5)	50 (54)	算数 数学	小5	5 (3)	61 (74)
	中2	7 (7)	56 (51)		中2	6 (5)	44 (52)
理科	小5	6 (5)	51 (62)	社会	小5	4 (4)	51 (54)
	中2	8 (4)	30 (39)		中2	4 (4)	35 (47)
英語	中2	3 (5)	22 (40)				

教科毎に見ると、全ての教科で活用問題の平均正答率が教科全体の平均正答率を下回っており、いずれの教科においても活用問題が課題である状況が分かる。

活用問題は、生徒の思考力・判断力・表現力等を問う問題であり、こうした問題に対応するためには、日常の授業において言語活動をより一層充実させていくことが大切である。教科の枠を越えた学校ぐるみでの取組を進めながら改善を図る必要がある。

⑤ 次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問題に答えましょう。

【文章】

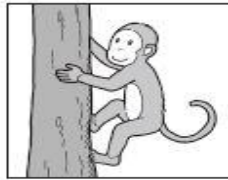
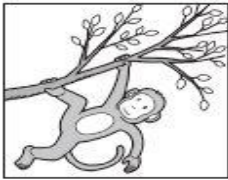
- ① 森の中にすむには、木登りがうまくなければなりません。サルは、木登り名人なのです。
- ② 木登りをする動物は、いろいろな動物のつま先を木のはだに食いこると、つめがぬけてしまうことはだに当てながらかけて下り下ります。わかいネコが電信柱に上り、消防士に助けられたという話は聞いたので、ゆっくり登り、リスはすばやく登り、枝じゆん端までは行けません。
- ④ ところが、サルは新しい木登りかえ、後肢で幹の表面をけりかき、両腕で幹をかかえ、後ろ足で幹の表面をけりながら登ります。
- ⑤ また、サルは、前肢や後肢のようなこずえにでも、細い枝をこすことができます。
- ⑥ サル流の木登りをするためには、胴体をくねらしたり、全身をまげたり、そのための、体じゆうのようには、体や手足を動かすための神経や脳が発達してなければなりません。目が発達している動物には、目が発達している動物には、このようにして、サルたちは登りました。

※四肢……四本の足。
 ※後肢……後ろ足。
 ※前肢……前足。
 ※こずえ……幹や枝の先。

(香原志)

サルは木から落ちない？

サルの木登りの特ちょう



特ちょう1

両腕で幹をかかえ、後ろ足で幹の表面をけりながら登ります。

こうすることで

力強く、すばやく登れます。さらに、楽に下りることができます。

特ちょう2

前足や後ろ足の指で、枝がにぎれます。

こうすることで

そして、葉の間から顔を出せます。

【ミニ図かん】

(5) 山川さんは、校外学習で動物園に行き、どうしてサルは木から落ちないのか疑問に思いました。そこで、山川さんはこの「文章」を読んで、次のような「ミニ図かん」を作りました。「ミニ図かん」の□に入る言葉を、文章中の言葉を使って二十文字以上、三十五字以内で書きましょう。

正答例（省略）

県正答率 39.3%

今年度の国語の調査結果を見ると、昨年度と同様に、説明されている事柄に着目しながら目的に応じて文章の内容を要約したりすることに課題が見られ、無解答率も高い状況にある。

今回、上記の問題⑤においては、文章を読んで「サルの木登りの特徴」について2つの事柄をミニ図鑑にまとめるために、特徴を表している中心となる言葉を文章から抜き出すことができるかを見る調査問題である。木登りをするいろいろな動物の特徴と比べながら、サルの木登りについて取り上げている内容の中心をとらえながら文章を読み、目的に応じて必要な部分を選択したり整理したりする思考・判断・表現する力が求められる。

目的に応じて、中心となる語をとらえながら、その語を含む文全体の意味を的確に理解し、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容などに着目する学習とともに、要約する目的を明確にし、元の文章の構成や表現の生かし方などを具体的に考えてまとめる学習が一層重要である。

4 質問紙調査結果の概要と傾向

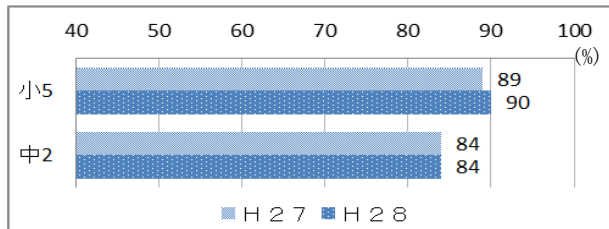
(1) わかる授業について

県教委では、いわて県民計画アクションプランの政策項目「児童生徒の学力向上」において、平成23年度から「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合を指標に取り組んでいる。

小学校・中学校ともに肯定的回答が多く、「わかる授業」の取組が推進されていると考えられ、本年度は、特に、「よく分かる」という積極肯定が伸びている教科が多い。しかし、中2数学及び英語は、改善傾向は見られるものの、肯定的回答が6～7割程度であり課題状況は継続している。

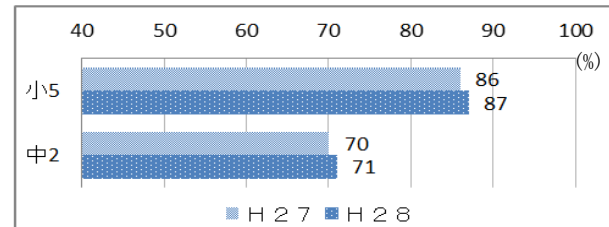
質問事項31：国語の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H27	39	50	9	2
	H28	42	48	8	2
		90		10	
中学2年	H27	27	57	13	4
	H28	29	55	12	4
		84		16	



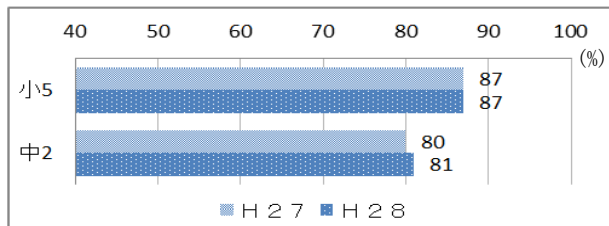
質問事項35：算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H27	47	39	11	3
	H28	48	39	10	3
		87		13	
中学2年	H27	29	41	21	9
	H28	31	40	20	9
		71		29	



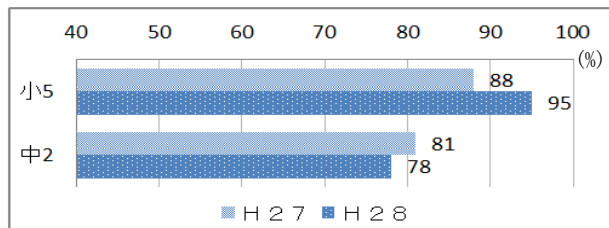
質問事項39：社会の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H27	46	41	10	3
	H28	46	41	10	3
		87		13	
中学2年	H27	36	44	15	5
	H28	37	44	15	5
		81		20	



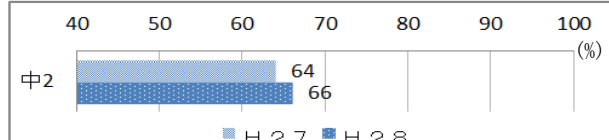
質問事項43：理科の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H27	62	26	8	4
	H28	64	31	4	1
		95		5	
中学2年	H27	36	45	14	5
	H28	34	44	16	6
		78		22	



【中学校】質問事項47：英語の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
中学2年	H27	24	40	23	13
	H28	27	39	22	11
		66		33	



今後も、児童生徒の実態に立脚した取組を意識し、身に付けさせたい力を明確にするとともに適切に評価するなど、児童生徒の理解状況を把握しながら学習内容の確実な定着を図っていく必要がある。さらに、「よく分かる」という積極的肯定回答の割合を増加させるために、児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう、単に学習課題やゴールを提示するだけでなく、やるべきことをしっかりと共有し、学習内容への意欲を高めるような教材分析と授業構成にする工夫が必要である。併せて、諸調査分析結果から学力と相関が強いとされている「確かな学び、豊かな学びプロジェクト」で示してきた学習活動を取り入れながら授業の質を高めるなど、学校として組織的に授業改善に取り組むことが重要である。

(2) 学校の授業以外の学習時間について

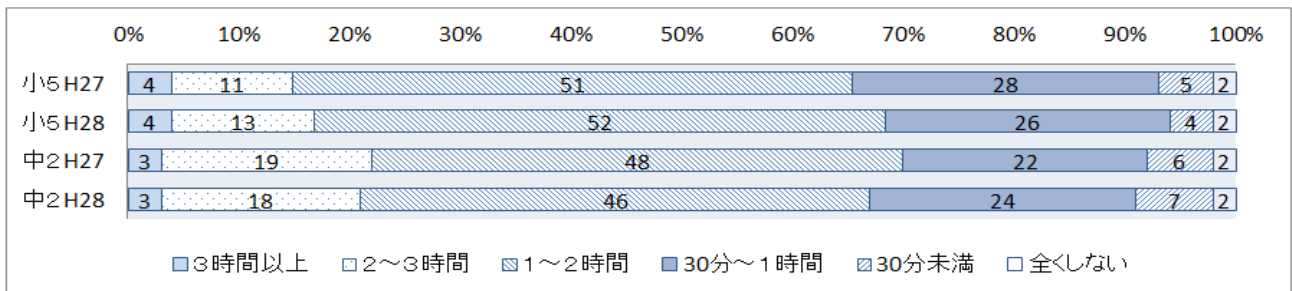
小学5年は、昨年度より2時間以上3時間未満、1時間以上2時間未満と回答した児童の割合が増加し、改善傾向が見られる。中学2年は、昨年度より2時間以上3時間未満、1時間以上2時間未満と回答した生徒の割合が減少し、ほとんど学習しない生徒の割合もわずかではあるが増加しており、改善傾向が見られなかった。1時間未満の児童生徒も含めて、家庭での有効な時間の使い方について、テレビ等の視聴時間や、中2の2割以上が2時間以上、4割以上が1時間以上使用しており、小5・中2ともに使用時間や所持率が増加傾向にあるスマートフォン等の利用と合わせて指導することが求められる。

また、家庭学習の内容については、家庭で調べたり文章を書いたりするような課題を工夫して与えることに一層取り組むなど、質的に充実させる必要がある。

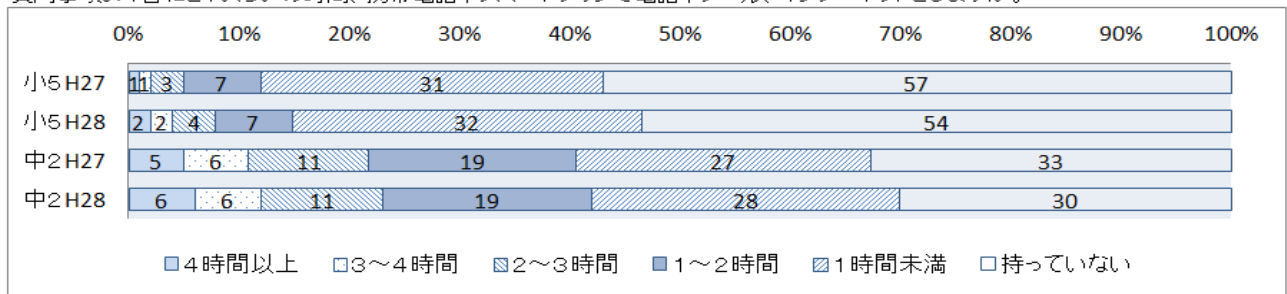
一方、児童生徒の体力・健康面を考慮したり、家庭学習時間を保障したりするために、帰宅時刻が遅くなる原因として考えられる様々な活動について働きかけを行っている学校が増えており、徐々に改善しつつある。しかしながら、働きかけを「あまり行っていない」、「行っていない」という否定的回答もいまだにあることから、土・日の活動も含めた児童生徒の適正な活動の在り方や家庭学習について、保護者や地域と連携しながらの取組が求められる。

学習内容のより確実な定着のために、授業との関連を図った課題の内容や出し方等を工夫することによって学習意欲を喚起するとともに、一日の生活の過ごし方を見つめ直すなど、学習意欲と学習環境の両面から、家庭学習の充実を目指した取組をより一層進めていく必要がある。

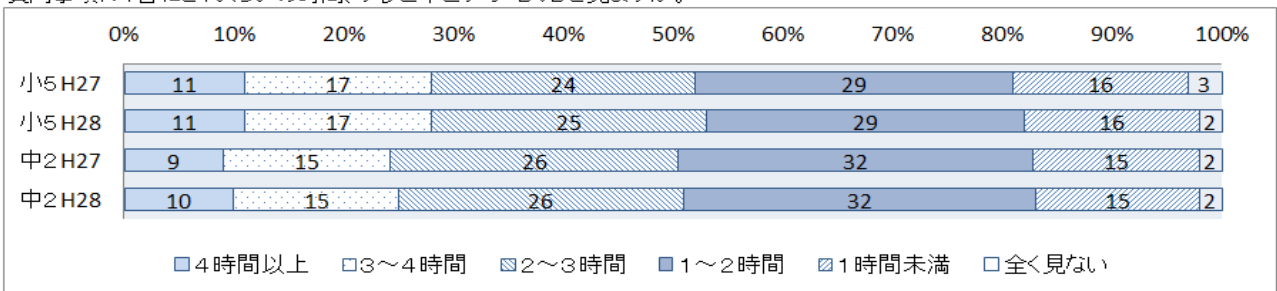
質問事項10:学校の授業以外で、1日にどのくらい勉強しますか。



質問事項9:1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか。

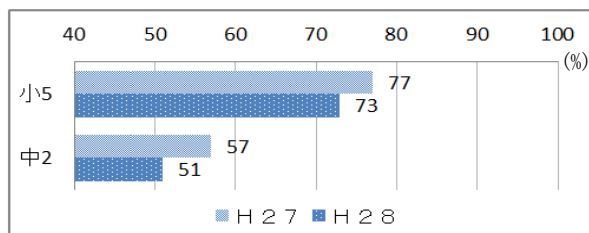


質問事項7:1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見ますか。

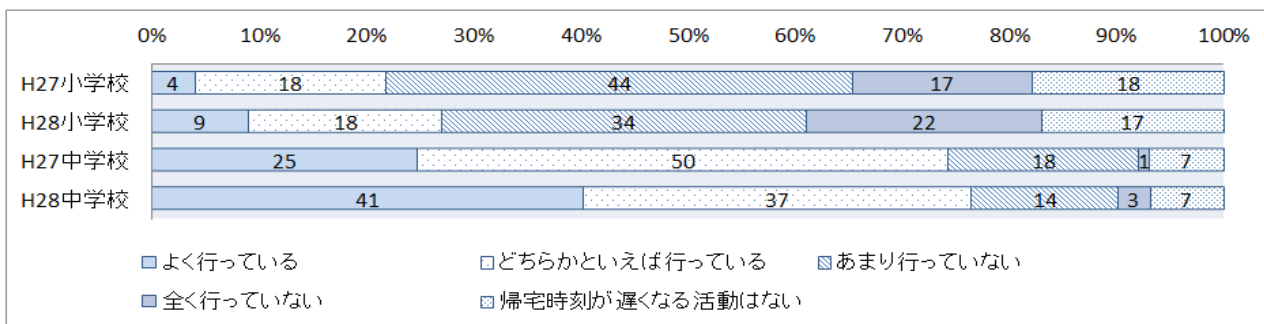


質問事項13:家で調べたり、文章を書いたりする宿題がありますか。

学年	年	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない
小学5年	H27	40	37	15	8
	H28	35	38	17	10
中学2年	H27	20	37	26	16
	H28	18	33	27	21
		73	27		
		51	48		



質問事項30:平日の部活動や父母会の活動、スポーツ少年団等の活動について、部活動顧問や父母会・スポーツ少年団の責任者や指導者等に対して児童生徒の帰宅時刻が遅くならないよう、学校からの働きかけをしていますか。【学校質問紙】

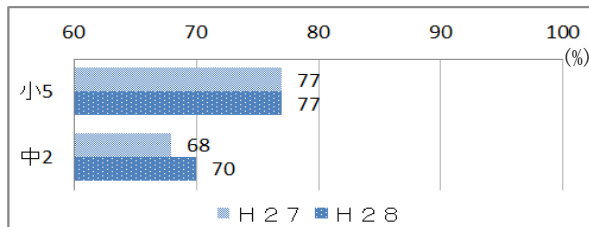


(3) 児童生徒の自己肯定感に関する項目について

中学2年で肯定的回答が2ポイント上昇しているが、学年が上がるごとに肯定的回答が減少しており、本年度の全国学調でも同様の結果（肯定的回答は小6で74.1%，中3で67.2%）が出ている。今後も望ましい日々の教科等の指導で、児童生徒の実態に合った課題を設定し、達成感を味わわせたり、児童生徒一人一人の学びや活動の姿をよく捉えて、的を射た褒め方をしたりしながら自己肯定感を育むことが大切である。その他、学級経営、生活指導、集団活動等を通して、児童生徒の所属感や連帯感を深めるなど、指導を工夫していく必要がある。

質問事項4:自分にはよいところがあると思いますか。

学年	年	あると思う	どちらかといえ ばあると思う	どちらかといえ ばないと思う	ないと思う
小学5年	H27	32	45	16	8
	H28	31	46	15	7
中学2年	H27	23	45	20	11
	H28	24	46	20	9
		77	22		
		70	29		



(4) 「課題克服のための重点目標と具体的取組」について

県教委では、本年度「課題克服のための重点方策」として次の3項目を示した。

- ア 前年度内に作成した「調査結果活用レポート」を活用し、各学校における検証改善のサイクル（CAPDサイクル）を構築する。
- イ 全職員で取り組む校内体制の整備と実践
- ウ 校種間連携の一層の推進

これらの取組の状況を確認するため、児童生徒及び学校質問紙において実態を調査した。

- ア 前年度内に作成した「調査結果活用レポート」を活用し、各学校における検証改善のサイクル（CAPDサイクル）を構築する。

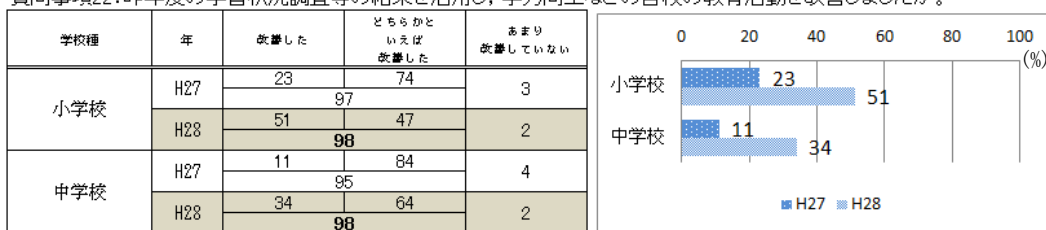
以下の学校質問紙結果を見ると、どの項目も積極肯定が伸びており、改善傾向が

見られる。「調査結果活用レポート」の内容について意識しながら共通実践に取り組んだ学校が増えていることが分かる。今後は、取組の結果として、目標について検証するとともに、組織的な取組についても成果や課題を明らかにして次年度につなげることが必要である。

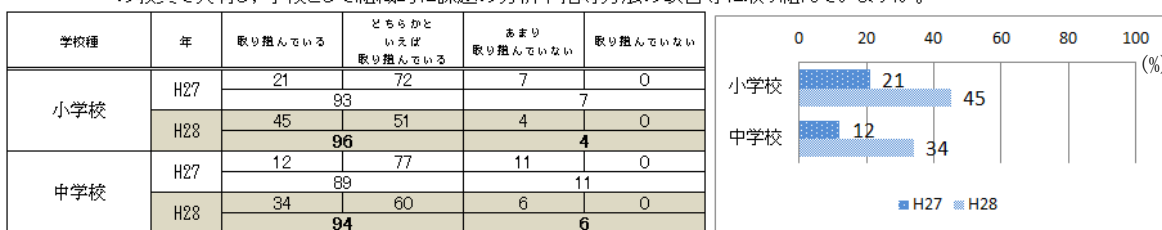
質問事項20: 県学習定着度状況調査について、目標を設定して計画的に取り組みましたか。



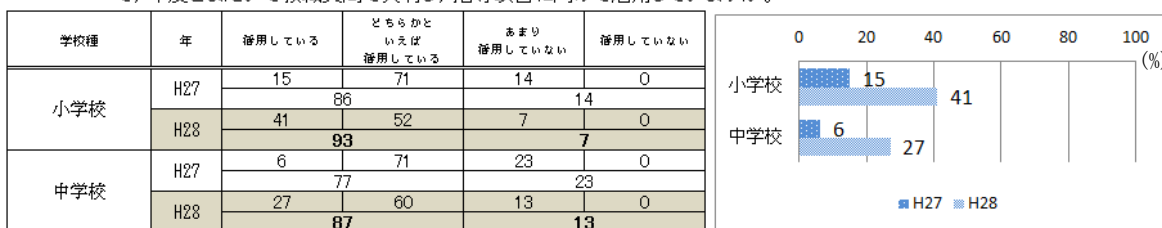
質問事項22: 昨年度の学習状況調査等の結果を活用し、学力向上などの自校の教育活動を改善しましたか。



質問事項28: 昨年度の県学習定着度状況調査の「集計・分析シート」の内容等から、学習に関する状況や課題を全ての教員で共有し、学校として組織的に課題の分析や指導方法の改善等に取り組んでいますか。



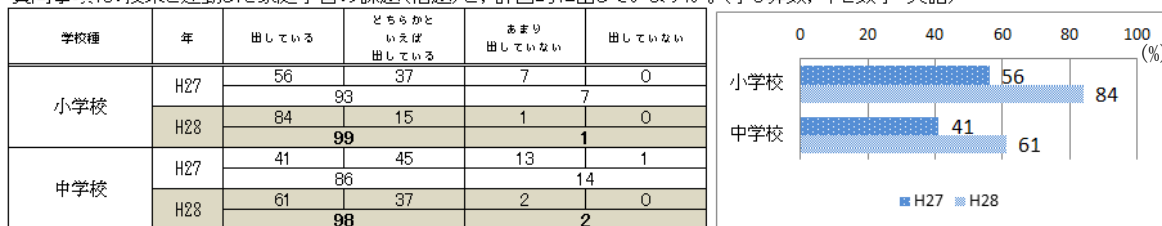
質問事項29: 昨年度の「調査結果活用レポート」に記載した調査結果の分析内容や目標設定、取組計画などについて、年度をまたいで教職員間で共有し、指導改善に向けて活用していますか。



イ 全職員で取り組む校内体制の整備と実践

どの項目も積極肯定が伸びており、校内体制を見直し、主任層が中核となった取組が展開されてきていることが分かる。さらに、「いわての授業づくり3つの視点」を参考としながら教員相互の授業参観を計画的に行う学校の割合も増えており、今後より一層授業を核とした取組が推進されることが期待できる。

質問事項15: 授業と連動した家庭学習の課題(宿題)を、計画的に出していますか。(小5算数、中2数学・英語)



質問事項24: 県学調・全国学調の問題の一部を、全教員で解いてみる時間を設定しましたか。



質問事項25: 授業改善に向けて、校内研修に位置付けた教員相互の授業参観に取り組んでいますか。

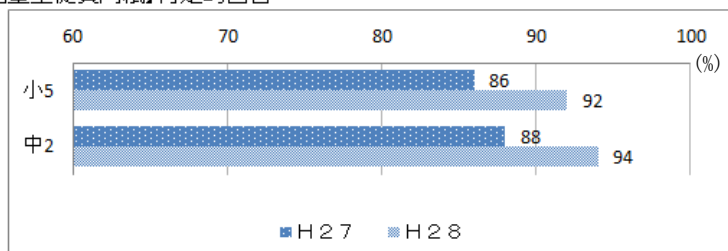


また、「学習課題（見通し）」と「まとめ（学習の振り返り）」を板書に位置付けることについて、学校質問紙では、ほぼ全ての学校でこれらの取組について肯定的回答をしている。（下のグラフで「学校質問紙」は積極肯定的「あてはまる」のみを表示した）これに対し、児童生徒の肯定的回答は、小中とも8～9割となっており、今年度4月の全国学調でも同様の結果が見られることから、「見通し」と「振り返り」の場면을授業に位置付ける授業改善の取組は、各学校で着実に取り組まれてきていることが分かる。さらに、小中学校とも児童生徒質問紙、学校質問紙の結果とも伸びており、一層充実した実践が各学校で行われたことが分かる。

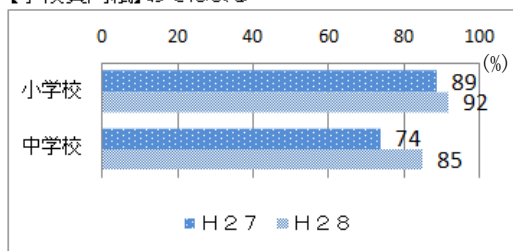
しかし、「見通し」に比べると「振り返り」の場면을位置付けている学校は、多くなってきているとはいえ、まだ十分ではない状況である。授業のまとめの段階で「学習のまとめ」を自分で考えてノートに記述させたり、本時の学びを自覚させるために、自分の思考過程や変容（考えられなかったことを考えられるようになった、表現できなかったことを表現できるようになった等）、本時でできるようになったことや分からなかったことなどをノートにまとめさせたりといった、「振り返り」場面においてより一層の質的向上を図る必要がある。また、どのような「振り返り」ができれば（書くことができれば）、本時のゴール（目指す児童生徒の姿）に迫ることができるのかをスタートとしながら、終末からさかのぼって展開での学習活動や導入での課題（目標・ねらい）の設定等について授業づくりを考えるような「振り返りから授業をつくる」ことも有効である。

質問事項25: 普段の授業で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。

【児童生徒質問紙】肯定的回答

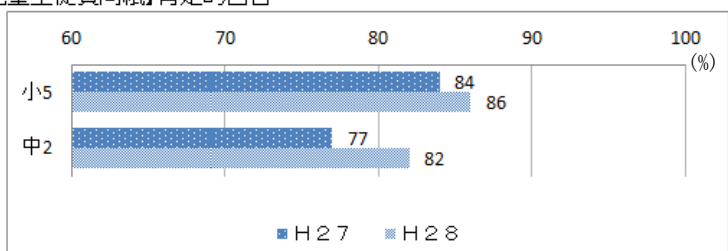


【学校質問紙】あてはまる

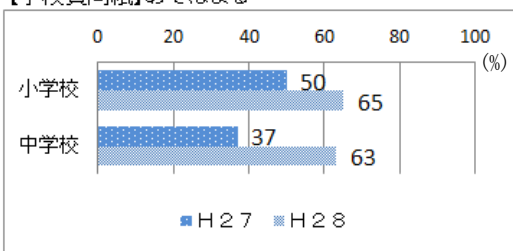


質問事項26: 普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。

【児童生徒質問紙】肯定的回答



【学校質問紙】あてはまる



県教委では、昨年度から中学校新入生学習状況調査（中学1年4月実施）の結果を出身小学校へ、高校基礎力確認調査（高校1年4月実施）の結果を出身中学校へそれぞれ提供しながら、小学校6年間、中学校3年間の学びの成果を確認できるようにしている。また、中学校区内の小中連携での話題の一つとして取り上げながら指導の成果等について共有している取組も見られる。

さらに、毎年8～9月に行われる中高連携学力向上協議会の中で、中高それぞれの学力向上担当者で課題を共有しながら、連携を図ってきている。

今後は、例えば、全国調査で学力と相関が見られる「自校の調査結果を保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか」の項目のように、全国と比較して本県として課題であり、特に積極肯定が少ない部分にも注目しながら、保護者・地域との連携を図っていくことが求められる。

＜参考＞平成28年度全国学力・学習状況調査学校質問紙より

質問事項61:平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。



5 調査結果の活用と今後の取組

調査結果についての詳細と分析結果のまとめについては、教科ごとに授業改善及び事後指導のための資料を作成し、ホームページ上に掲載し、確実な定着に向けた取組を支援していく。

各市町村教育委員会及び各学校、全職員には、課題となった部分を次年度の指導計画へ確実に反映させ、課題解決のための授業改善を図るとともに、組織的対応に積極的に取り組む学校の割合が増加するよう、より一層の主体的取組を期待する。

諸調査結果の活用の視点として、今後、特に以下の点に力を入れていきたいと考える。

＜重点目標＞

諸調査結果を活用した「学校の組織的対応の強化」

児童生徒に確かな学力を保障するために、児童生徒の実態に立脚し、客観的なデータ（エビデンス）をより一層効果的に活用しながら、何が課題であるのか、そのつまずきはなぜ生じているのかについて、指導方法のみならず教育課程の編成や組織運営を含めた解決の手立てを学校内で検討し、全職員が当事者として取り組む。

＜具体的取組＞

ア 前年度内に作成した「『確かな学び、豊かな学び』実現プラン」を活用し、各学校における検証改善のサイクル（CAPDサイクル）を構築する

- ① 「『確かな学び、豊かな学び』実現プラン」に基づいた取組を全職員で展開すること
- ② 「誰が」「何を」「いつ」「どのように」「どの程度」行うのかを明確にして取り組むこと
- ③ 取組の結果として、目標について検証するとともに、組織的な取組についても成果や課題を明らかにして次年度につなげる

イ 全職員で取り組む校内体制の整備と実践

- ① 学級や教科，学年の壁を越えて組織的な対応を図るための校内体制を見直し，**全職員参画による課題解決のための運営**となるよう，主任層（教務主任や研究主任，学年主任等）が中核となり，取組を展開すること
- ② 授業力向上を目指した教員相互の授業参観を計画的に行い，その授業参観の視点として「**いわての授業づくり3つの視点**」を参考とすること
- ③ 県学調や全国学調の問題を全教員が解いてみる機会を設定するなどして，今求められている学力についての理解を深め，日常の「**授業**」を核とした取組を推進すること
- ④ 学習内容の理解を一層促進するために，**家庭学習について質と量の両面から課題を共有し，改善を図ること**

ウ 校種間連携，保護者・地域との連携の一層の推進

- ① 中学校新入生学習状況調査や高校基礎力確認調査の結果を有効な資料として活用した校種間連携を図ること
- ② 小問分析から見えた課題を校種間で共有し，学習指導における解決策を探ること
- ③ 諸調査の分析結果やそれを受けての学校としての学力向上等の取組や家庭学習について，保護者・地域に対して働きかけ，連携を図ること

そのために県教育委員会として，今後，以下の点について取り組んでいく。

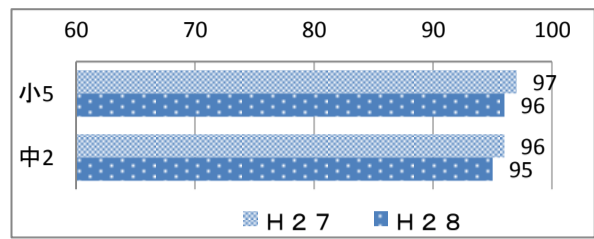
- ① 「諸調査結果を効果的に活用して組織的に対応している学校の実践事例」を普及拡大すること
【取組例：先進実践校取組事例の提供と県ホームページへの掲載，岩手県教育研究発表会での発表等】
- ② 各学校における調査結果の分析を基にした指導改善計画の作成及び実践について，継続的な支援を強化すること
【取組例：「『確かな学び，豊かな学び』実現プラン」に基づく学校支援，指導主事による学校訪問等】
- ③ 各学校の課題解決に向けて，授業改善という視点に加え，教育課程の改善という視点について，市町村教育委員会と共通理解を図りながら，学校の支援をすること
【取組例：市町村教育委員会訪問，指導主事による学校訪問等】
- ④ 各学校の学力調査の分析結果を保護者や地域に周知するとともに，結果を踏まえた学校の取組について理解や協力を得ることができるよう学校評価の取組を市町村教育委員会と連携して推進すること
【取組例：市町村教育委員会訪問，指導主事による学校訪問等】
- ⑤ 数学について，様々な研修会や指導主事による訪問指導の機会を通じて全国学力・学習状況調査及び県学習定着度状況調査等の分析結果を活用し，指導と評価の一体化を図るための取組を一層充実すること
【取組例：教学教員研修会，指導主事による訪問指導等】
- ⑥ 家庭学習の質的量的な改善に向けて，家庭学習の時間と教科に関する調査や児童生徒質問紙調査とをクロス分析した資料を提供すること
【取組例：中高連携学力向上協議会，教育振興運動との連動等】

○児童生徒質問紙調査項目結果一覧

※小学5年には義務教育学校第5学年、中学2年には義務教育学校第8学年が含まれます。

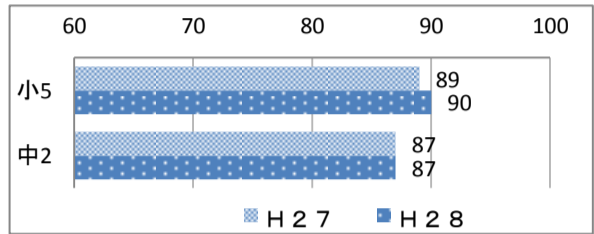
質問事項1:朝食を毎日食べていますか。

学年	年	食べている	どちらかといえ ば食べている	あまり 食べていない	全く 食べていない
小学5年	H27	89	8	3	0
	H28	87	9	4	0
中学2年	H27	87	9	3	1
	H28	86	9	4	1



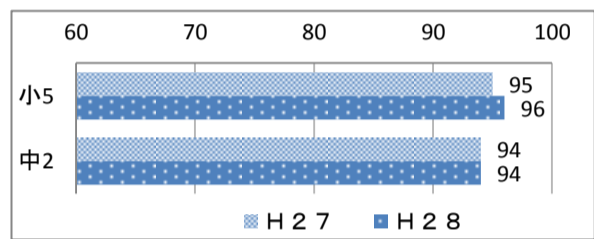
質問事項2:学校に行くのは楽しいと思いますか。

学年	年	楽しいと思う	どちらかといえ ば楽しいと思う	どちらかといえ ば楽しいと思わない	楽しいと思わない
小学5年	H27	55	34	8	3
	H28	54	36	7	3
中学2年	H27	49	38	8	4
	H28	48	39	9	4



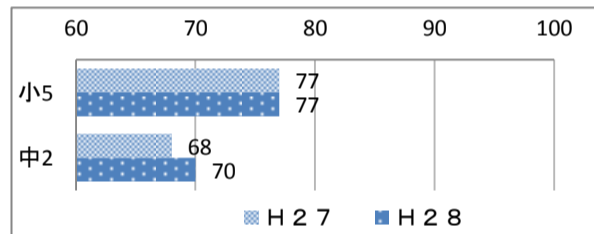
質問事項3:ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない
小学5年	H27	70	25	4	2
	H28	70	26	3	2
中学2年	H27	70	24	4	2
	H28	69	25	4	1



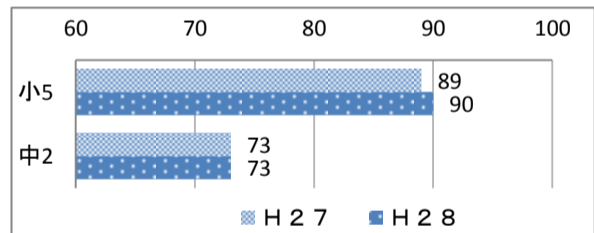
質問事項4:自分にはよいところがあると思いますか。

学年	年	あると思う	どちらかといえ ばあると思う	どちらかといえ ばないと思う	ないと思う
小学5年	H27	32	45	16	8
	H28	31	46	15	7
中学2年	H27	23	45	20	11
	H28	24	46	20	9



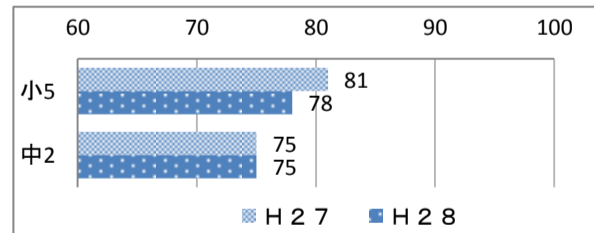
質問事項5:あなたは、将来の夢や目標をもっていますか。

学年	年	もっている	どちらかといえ ばもっている	どちらかといえ ばもっていない	もっていない
小学5年	H27	70	19	7	4
	H28	72	18	6	4
中学2年	H27	42	31	14	11
	H28	42	31	15	11



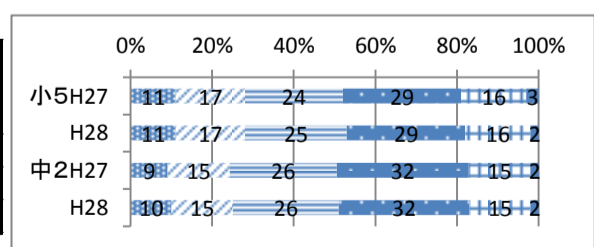
質問事項6:家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話しをしますか。

学年	年	している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小学5年	H27	52	29	15	4
	H28	50	28	17	5
中学2年	H27	43	32	18	6
	H28	44	31	18	6



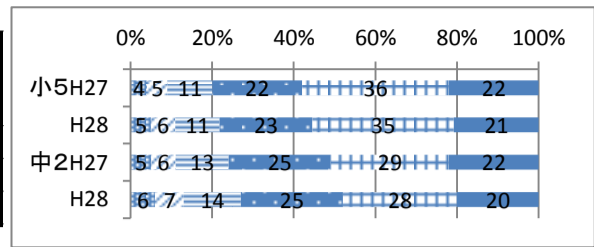
質問事項7:1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全く見たり 聞いたりしない
小学5年	H27	11	17	24	29	16	3
	H28	11	17	25	29	16	2
中学2年	H27	9	15	26	32	15	2
	H28	10	15	26	32	15	2



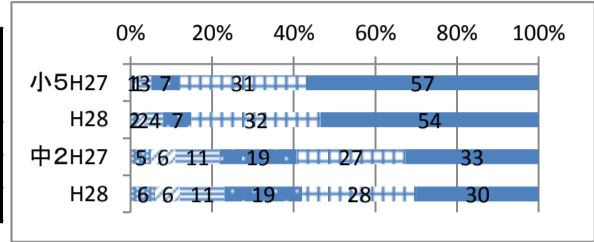
質問事項8: 1日にどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全くしない
小学5年	H27	4	5	11	22	36	22
	H28	5	6	11	23	35	21
中学2年	H27	5	6	13	25	29	22
	H28	6	7	14	25	28	20



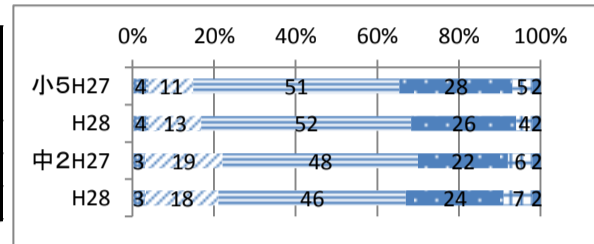
質問事項9: 1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	携帯電話や スマートフォン を持っていない
小学5年	H27	1	1	3	7	31	57
	H28	2	2	4	7	32	54
中学2年	H27	5	6	11	19	27	33
	H28	6	6	11	19	28	30



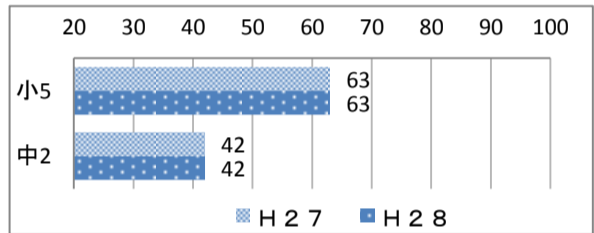
質問事項10: 学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか。

学年	年	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	30分より 少ない	全くしない
小学5年	H27	4	11	51	28	5	2
	H28	4	13	52	26	4	2
中学2年	H27	3	19	48	22	6	2
	H28	3	18	46	24	7	2



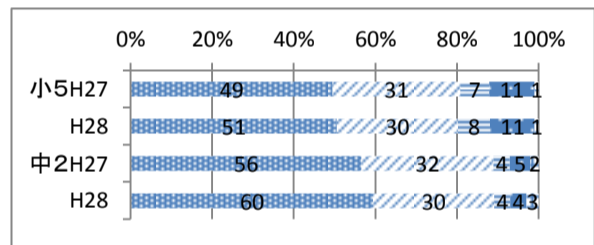
質問事項11: 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

学年	年	している	どちらかといえ ばしている	どちらかといえ ばしていない	していない
小学5年	H27	25	38	22	15
	H28	25	38	22	14
中学2年	H27	9	33	34	24
	H28	9	33	34	24



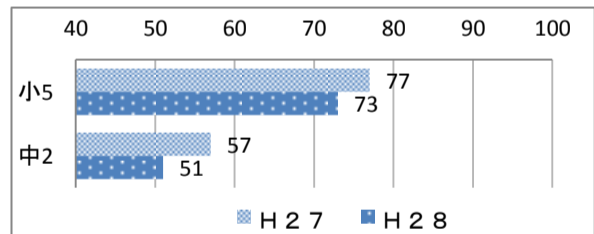
質問事項12: 家で勉強する内容は、次のどれが多いですか。

学年	年	宿題だけ	宿題のほかに 復習をする	宿題のほかに 予習をする	宿題のほかに 予習と復習をする	勉強していない
小学5年	H27	49	31	7	11	1
	H28	51	30	8	11	1
中学2年	H27	56	32	4	5	2
	H28	60	30	4	4	3



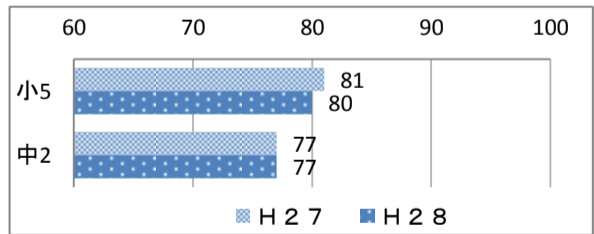
質問事項13: 家で調べたり、文章を書いたりする宿題がありますか。

学年	年	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない
小学5年	H27	40	37	15	8
	H28	35	38	17	10
中学2年	H27	20	37	26	16
	H28	18	33	27	21



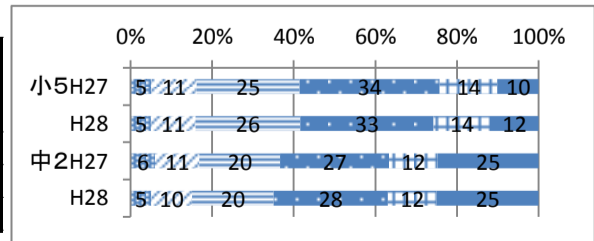
質問事項14: 読書は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きではない	好きではない
小学5年	H27	46	35	13	6
	H28	45	35	13	7
中学2年	H27	44	33	14	8
	H28	44	33	15	8



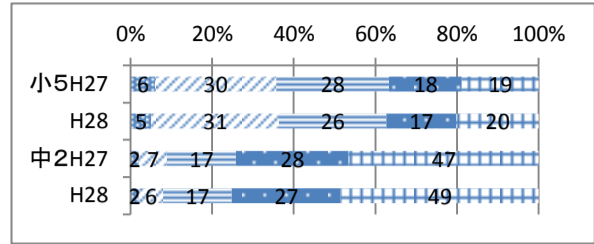
質問事項15: 学校の授業以外で1日にどれくらいの時間、読書をしますか。

学年	年	2時間以上	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	10分以上 30分より 少ない	10分より 少ない	全くしない
小学5年	H27	5	11	25	34	14	10
	H28	5	11	26	33	14	12
中学2年	H27	6	11	20	27	12	25
	H28	5	10	20	28	12	25



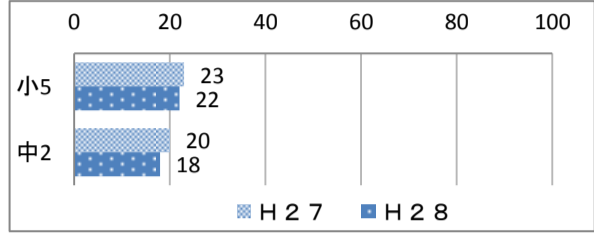
質問事項16: 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校の図書館(図書室)や地域の図書館にどれくらい行きますか。

学年	年	だいたい週に4回以上行く	週に1~3回程度行く	月に1~3回程度行く	年に数回程度行く	ほとんどまたは全く行かない
小学5年	H27	6	30	28	18	19
	H28	5	31	26	17	20
中学2年	H27	2	7	17	28	47
	H28	2	6	17	27	49



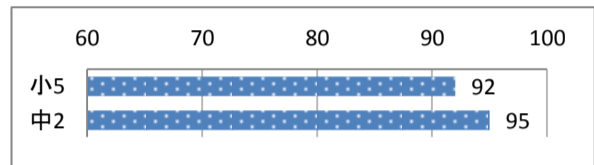
質問事項17: 新聞を読んでいますか。

学年	年	ほぼ毎日読んでいる	週に1~3回程度読んでいる	月に1~3回程度読んでいる	ほとんどまたは全く読まない
小学5年	H27	8	15	22	55
	H28	7	15	22	56
中学2年	H27	7	13	20	60
	H28	6	12	18	63



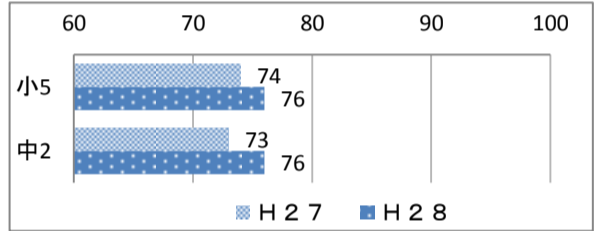
質問事項18: 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	66	26	5	3
	H28	92			8
中学2年	H27	74	21	3	2
	H28	95			5



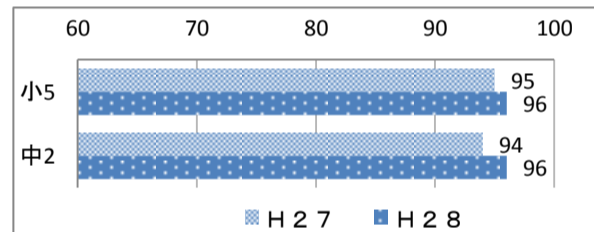
質問事項19: 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	28	46	18	8
	H28	74	26		7
中学2年	H27	30	46	16	23
	H28	76	23		7
中学2年	H27	21	52	19	8
	H28	73	27		8
中学2年	H27	27	49	16	8
	H28	76	24		8



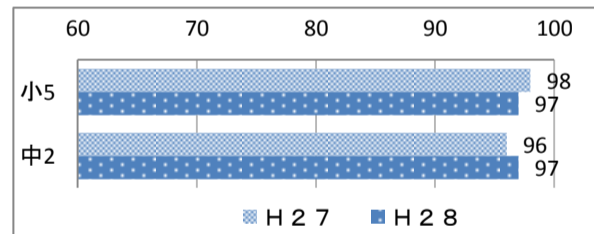
質問事項20: 人が困っているときは、進んで助けようと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	60	35	4	0
	H28	95	4		1
中学2年	H27	65	31	3	1
	H28	96	4		2
中学2年	H27	50	44	4	2
	H28	94	6		1
中学2年	H27	58	38	4	1
	H28	96	5		1



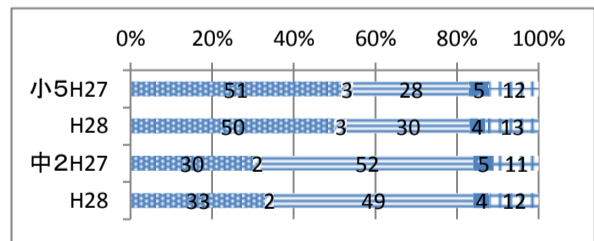
質問事項21: いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	84	14	2	0
	H28	98	2		2
中学2年	H27	83	14	2	1
	H28	97	3		1
中学2年	H27	78	18	3	1
	H28	96	4		1
中学2年	H27	79	18	3	1
	H28	97	4		1



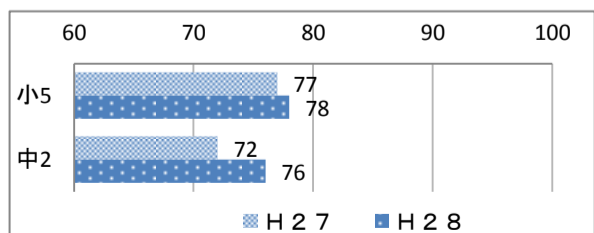
質問事項22: 自分が悩んでいることがあったとき、誰に相談することが多いですか。

学年	年	家族	学校の先生	友達	その他	相談する人はいない
小学5年	H27	51	3	28	5	12
	H28	50	3	30	4	13
中学2年	H27	30	2	52	5	11
	H28	33	2	49	4	12



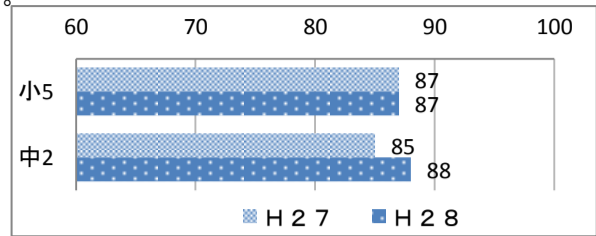
質問事項23: 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

学年	年	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいない	取り組んでいない
小学5年	H27	33	44	17	6
	H28	77	23		6
中学2年	H27	34	44	16	6
	H28	78	22		6
中学2年	H27	25	47	18	9
	H28	72	27		8
中学2年	H27	31	45	16	8
	H28	76	24		8



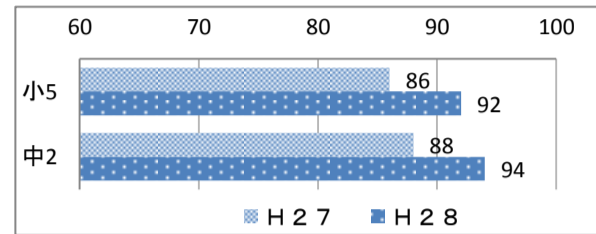
質問事項24: 普段の授業で、自分の考えを公表する機会が与えられていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	49	38	9	3
	H28	50	37	9	3
		87		12	
中学2年	H27	40	45	11	4
	H28	45	43	9	3
		88		12	



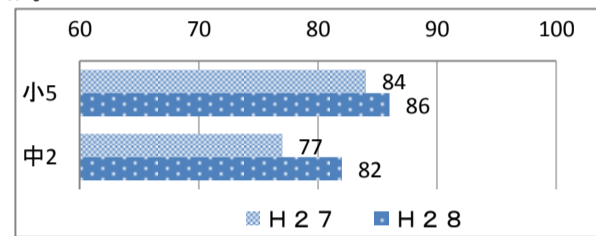
質問事項25: 普段の授業で、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	55	31	10	4
	H28	63	29	5	2
		92		7	
中学2年	H27	53	35	8	4
	H28	66	28	4	1
		94		5	



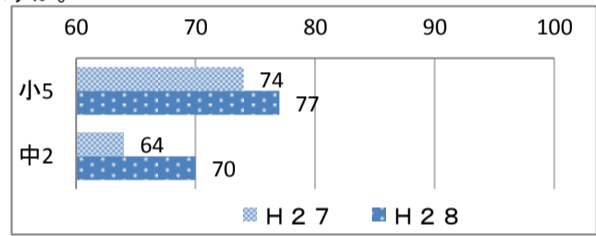
質問事項26: 普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	49	35	11	4
	H28	48	38	10	3
		86		13	
中学2年	H27	31	46	18	5
	H28	37	45	14	4
		82		18	



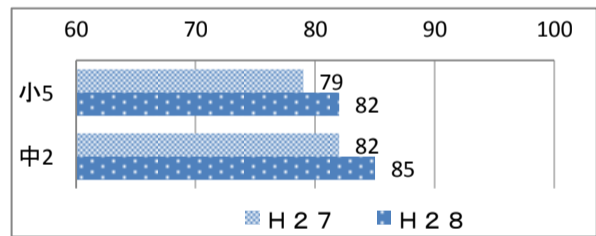
質問事項27: 普段の授業で、いろいろな資料を使って発表する活動を行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	28	46	20	5
	H28	29	48	19	4
		77		23	
中学2年	H27	20	44	28	7
	H28	24	46	24	5
		70		29	



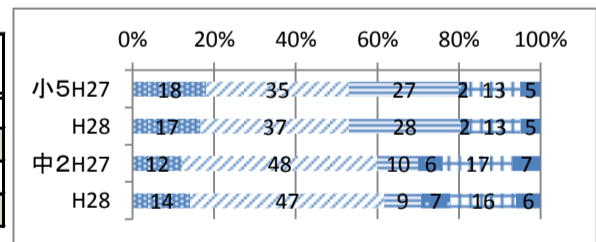
質問事項28: 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H27	36	43	15	5
	H28	39	43	14	4
		82		18	
中学2年	H27	38	44	13	5
	H28	40	45	11	4
		85		15	



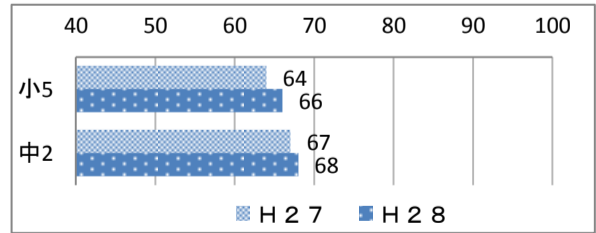
質問事項29: 学校の授業で分からないことがあった時、どうすることが多いですか。

学年	年	先生にたずねる	友達にたずねる	家の人にたずねる	塾や家庭教師の先生にたずねる	自分で調べる	そのままにする
小学5年	H27	18	35	27	2	13	5
	H28	17	37	28	2	13	5
中学2年	H27	12	48	10	6	17	7
	H28	14	47	9	7	16	6



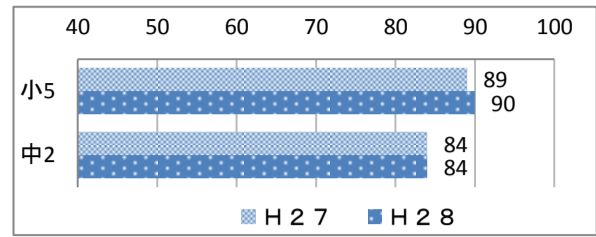
質問事項30: 国語の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば 好き	どちらかといえば 好きではない	好きではない
小学5年	H27	24	40	24	12
	H28	25	41	23	12
		66		35	
中学2年	H27	23	44	24	9
	H28	25	43	22	9
		68		31	



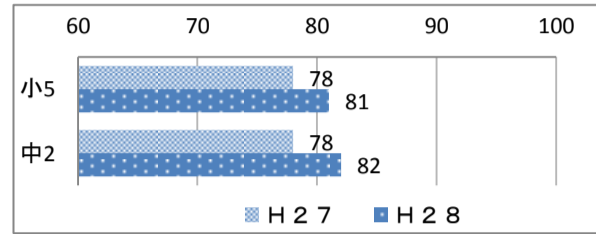
質問事項31: 国語の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H27	39	50	9	2
	H28	42	48	8	2
中学2年	H27	27	57	13	4
	H28	29	55	12	4
		84		16	



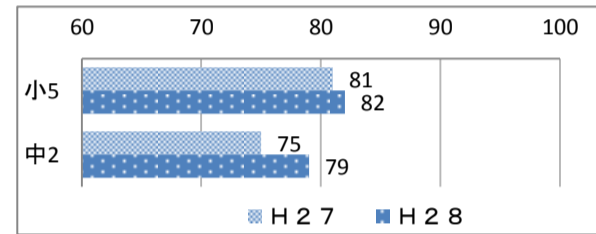
質問事項32: 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

学年	年	書いている	どちらかといえば書いている	どちらかといえば書いていない	書いていない
小学5年	H27	25	53	18	4
	H28	35	46	15	3
中学2年	H27	23	55	17	4
	H28	34	48	14	4
		81		18	
		82		18	



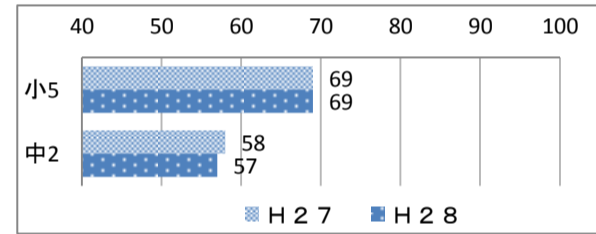
質問事項33: 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか。

学年	年	読んでいる	どちらかといえば読んでいる	どちらかといえば読んでいない	読んでいない
小学5年	H27	34	47	15	4
	H28	38	44	15	3
中学2年	H27	23	52	21	5
	H28	31	48	17	4
		79		21	



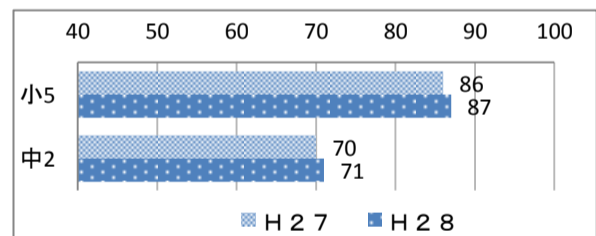
質問事項34: 算数・数学の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	H27	40	29	19	13
	H28	40	29	19	12
中学2年	H27	28	30	25	17
	H28	28	29	25	18
		57		43	



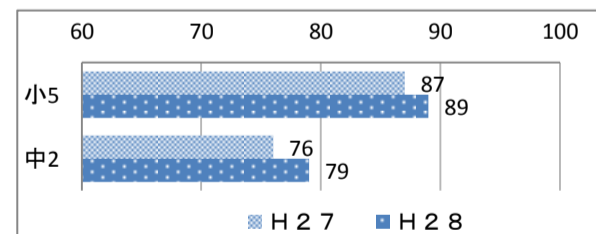
質問事項35: 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H27	47	39	11	3
	H28	48	39	10	3
中学2年	H27	29	41	21	9
	H28	31	40	20	9
		87		13	
		71		29	



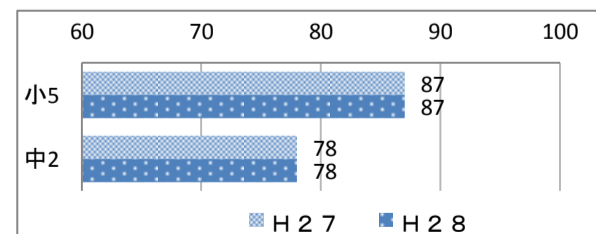
質問事項36: 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。

学年	年	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない
小学5年	H27	44	43	10	3
	H28	50	39	9	2
中学2年	H27	31	45	17	6
	H28	36	43	15	6
		89		11	
		79		21	



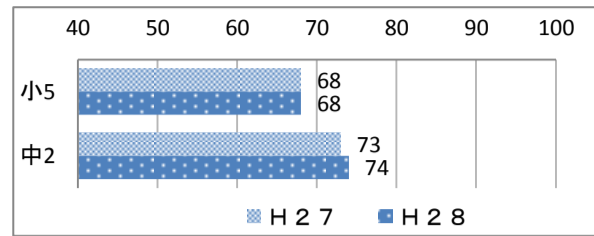
質問事項37: 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

学年	年	考える	どちらかといえば考える	あまり考えない	全く考えない
小学5年	H27	47	40	11	2
	H28	52	35	11	2
中学2年	H27	35	43	17	5
	H28	37	41	17	5
		87		13	
		78		22	



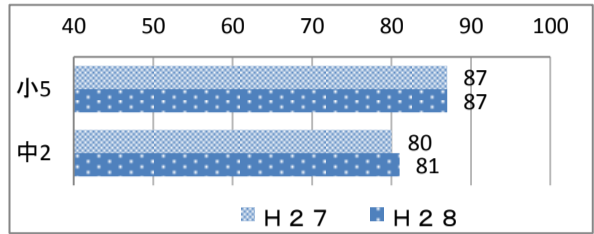
質問事項38: 社会の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	H27	36	32	20	12
	H28	35	33	20	12
中学2年	H27	39	34	18	9
	H28	39	35	18	8



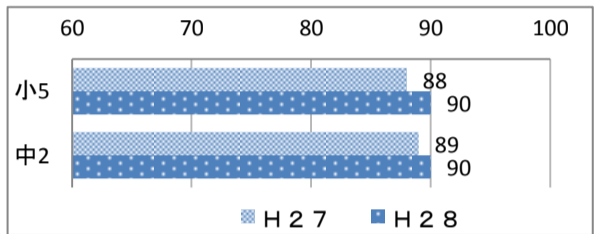
質問事項39: 社会の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分らない	分らない
小学5年	H27	46	41	10	3
	H28	46	41	10	3
中学2年	H27	36	44	15	5
	H28	37	44	15	5



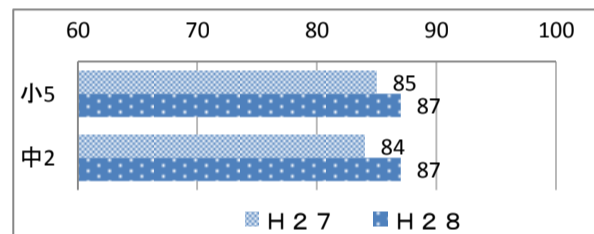
質問事項40: 社会の授業で学習問題(学習課題)を解決するとき、資料から関係のあることを読み取る活動を行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	52	36	9	3
	H28	54	36	8	2
中学2年	H27	48	41	9	3
	H28	51	39	8	2



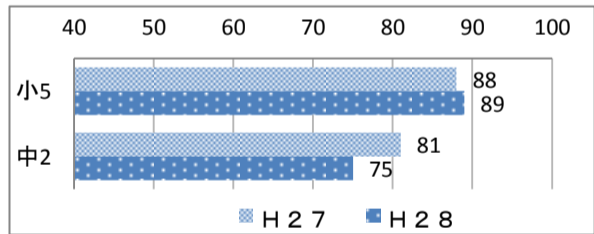
質問事項41: 社会の授業で、資料から読み取ったことなどをもとに、学習問題(学習課題)について考える活動を行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	43	42	12	3
	H28	44	43	11	2
中学2年	H27	40	44	13	4
	H28	44	43	10	3



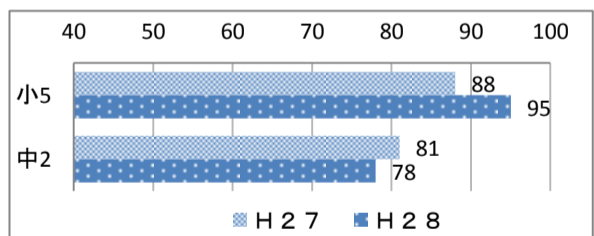
質問事項42: 理科の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	H27	62	26	8	4
	H28	62	27	7	4
中学2年	H27	36	45	14	5
	H28	37	38	17	8



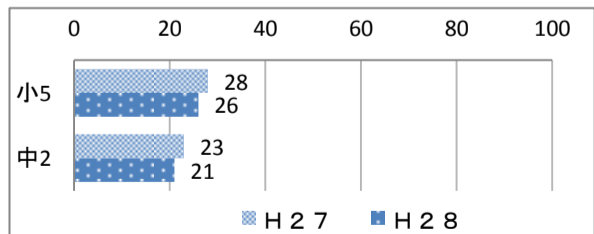
質問事項43: 理科の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分らない	分らない
小学5年	H27	62	26	8	4
	H28	64	31	4	1
中学2年	H27	36	45	14	5
	H28	34	44	16	6



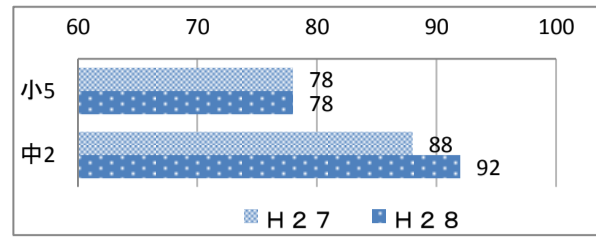
質問事項44: 将来、理科や科学技術に関係する職業に就(つ)きたいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H27	12	16	31	42
	H28	11	15	31	43
中学2年	H27	9	14	29	47
	H28	8	13	28	50



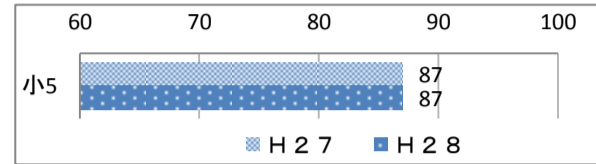
質問事項45: 理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行っていますか。

学年	年	週1回以上	月1回以上	学期に1回以上	ほとんどまたは全く行っていない
小学5年	H27	18	60	18	4
	H28	21	57	18	4
		78	78	22	22
中学2年	H27	31	57	9	3
	H28	45	47	5	3
		88	92	12	8



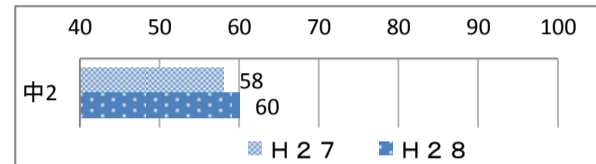
【小学校】質問事項46: 外国語活動の授業は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	H27	62	25	8	5
	H28	62	25	8	5
		87	87	13	13



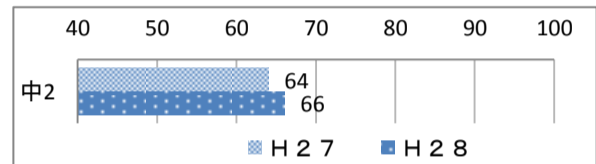
【中学校】質問事項46: 英語の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
中学2年	H27	26	32	25	17
	H28	28	32	24	16
		60	60	40	40



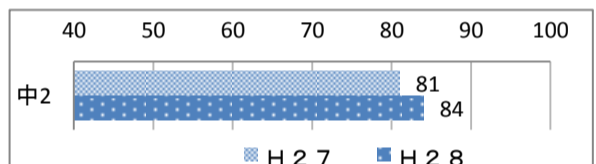
【中学校】質問事項47: 英語の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
中学2年	H27	24	40	23	13
	H28	27	39	22	11
		66	66	33	33



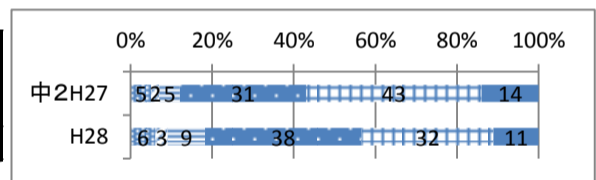
【中学校】質問事項48: 英語の授業で、まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、文章全体の概要や要点をとらえる活動をしていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
中学2年	H27	39	42	13	7
	H28	43	41	11	5
		84	84	16	16



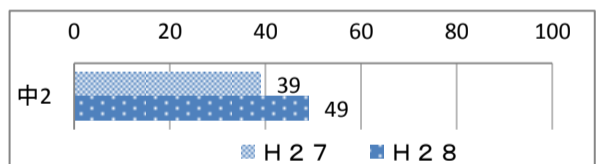
【中学校】質問事項49: 将来、どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。

学年	年	国際社会で活躍できる	海外の大学などに進学できる	高校・大学などで海外に短期留学できる	外国人とコミュニケーションを楽しめる	高校入試に対応できる	学校の授業以外での利用を考えていない
中学2年	H27	5	2	5	31	43	14
	H28	6	3	9	38	32	11



【中学校】質問事項50: 国語・数学・社会・理科・英語の授業で、先生やあなた、クラスの人が、パソコンや電子黒板、タブレット、実物投影機、プロジェクターなどの情報機器を使って、説明したり発表したりする場面があると思いますか。

学年	年	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない
中学2年	H27	14	25	25	36
	H28	22	27	19	33
		49	49	52	52



平成28年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査 学校質問紙調査結果

2016/10/12時点で回答

2015/10/7時点で回答

<岩手県>

H28の状況

H27の状況

	小学校		中学校	
回答校数	332	100.0%	163	100.0%

	小学校		中学校	
回答校数	337	100.0%	167	100.0%

※小学校に義務教育学校前期課程、中学校に同じく後期課程を含む

【授業】(学習調査対象学年)

1 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す活動を行っていますか。

	小学校		中学校	
1				
行っている	306	92.2%	138	84.7%
どちらかといえば行っている	26	7.8%	25	15.3%
あまり行っていない	0	0.0%	0	0.0%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
1				
行っている	299	89.0%	124	74.3%
どちらかといえば行っている	37	11.0%	43	25.7%
あまり行っていない	0	0.0%	0	0.0%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

2 授業の最後に学習したことを振り返る活動を行っていますか。

	小学校		中学校	
2				
行っている	214	64.5%	102	62.6%
どちらかといえば行っている	114	34.3%	59	36.2%
あまり行っていない	4	1.2%	2	1.2%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
2				
行っている	168	50.0%	62	37.1%
どちらかといえば行っている	164	48.8%	102	61.1%
あまり行っていない	4	1.2%	3	1.8%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

3 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、(小学校外国語活動)、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。

	小学校		中学校	
3				
取り組んでいる	179	53.9%	82	50.3%
どちらかといえば取り組んでいる	149	44.9%	77	47.2%
あまり取り組んでいない	4	1.2%	4	2.5%
取り組んでいない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
3				
取り組んでいる	132	39.3%	50	29.9%
どちらかといえば取り組んでいる	197	58.6%	110	65.9%
あまり取り組んでいない	7	2.1%	7	4.2%
取り組んでいない	0	0.0%	0	0.0%

4 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。

	小学校		中学校	
4				
している	147	44.3%	65	39.9%
どちらかといえばしている	182	54.8%	93	57.1%
あまりしていない	3	0.9%	5	3.1%
していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
4				
している	126	37.5%	42	25.1%
どちらかといえばしている	203	60.4%	118	70.7%
あまりしていない	7	2.1%	7	4.2%
していない	0	0.0%	0	0.0%

5 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。

	小学校		中学校	
5				
進めている	220	66.3%	85	52.1%
どちらかといえば進めている	111	33.4%	77	47.2%
あまり進めていない	1	0.3%	1	0.6%
進めていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
5				
進めている	174	51.8%	53	31.7%
どちらかといえば進めている	159	47.3%	113	67.7%
あまり進めていない	3	0.9%	1	0.6%
進めていない	0	0.0%	0	0.0%

6 本時の指導目標が達成できたかどうかを、教師が確認する場面を授業に位置付けていますか。

	小学校		中学校	
6				
位置付けている	153	46.1%	52	31.9%
どちらかといえば位置付けている	174	52.4%	105	64.4%
あまり位置付けていない	5	1.5%	6	3.7%
位置付けていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
6				
位置付けている	77	22.9%	33	19.8%
どちらかといえば位置付けている	247	73.5%	120	71.9%
あまり位置付けていない	12	3.6%	14	8.4%
位置付けていない	0	0.0%	0	0.0%

7 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか。

	小学校		中学校	
7				
徹底している	192	57.8%	86	52.8%
どちらかといえば徹底している	125	37.7%	72	44.2%
あまり徹底していない	15	4.5%	5	3.1%
徹底していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
7				
徹底している	208	61.9%	86	51.5%
どちらかといえば徹底している	125	37.2%	80	47.9%
あまり徹底していない	3	0.9%	1	0.6%
徹底していない	0	0.0%	0	0.0%

8 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか。

	小学校		中学校	
8				
指導している	228	68.7%	100	61.3%
どちらかといえば指導している	104	31.3%	62	38.0%
あまり指導していない	0	0.0%	1	0.6%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
8				
指導している	207	61.6%	83	49.7%
どちらかといえば指導している	127	37.8%	81	48.5%
あまり指導していない	2	0.6%	3	1.8%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

9 児童生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導していますか。

	小学校		中学校	
9				
指導している	79	23.8%	24	14.7%
どちらかといえば指導している	206	62.0%	117	71.8%
あまり指導していない	47	14.2%	22	13.5%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
9				
指導している	32	9.5%	14	8.4%
どちらかといえば指導している	255	75.9%	118	70.7%
あまり指導していない	49	14.6%	35	21.0%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

10 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか。

	小学校		中学校	
10				
指導している	109	32.8%	32	19.6%
どちらかといえば指導している	202	60.8%	121	74.2%
あまり指導していない	21	6.3%	10	6.1%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
10				
指導している	64	19.0%	19	11.4%
どちらかといえば指導している	250	74.4%	135	80.8%
あまり指導していない	22	6.5%	13	7.8%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

11 児童生徒に対して、発展的な学習の指導を行いましたか。

11	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
行っている	41	12.3%	15	9.2%
どちらかといえば行っている	197	59.3%	90	55.2%
あまり行っていない	94	28.3%	58	35.6%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
行っている	16	4.8%	9	5.4%
どちらかといえば行っている	204	60.7%	79	47.3%
あまり行っていない	116	34.5%	79	47.3%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

12 学習内容に応じて、チームティーチングによる指導を行っていますか。(算数・数学)

12	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
年間の授業のうち、およそ 3/4 以上で行った	106	31.9%	65	39.9%
年間の授業のうち、およそ 1/2 以上 3/4 未満で行った	30	9.0%	30	18.4%
年間の授業のうち、およそ 1/4 以上 1/2 未満で行った	26	7.8%	20	12.3%
年間の授業のうち、およそ 1/4 未満で行った	42	12.7%	12	7.4%
行っていない	128	38.6%	36	22.1%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
年間の授業のうち、およそ 3/4 以上で行った	54	16.1%	52	31.1%
年間の授業のうち、およそ 1/2 以上 3/4 未満で行った	45	13.4%	12	7.2%
年間の授業のうち、およそ 1/4 以上 1/2 未満で行った	41	12.2%	35	21.0%
年間の授業のうち、およそ 1/4 未満で行った	99	29.5%	40	24.0%
行っていない	97	28.9%	28	16.8%

13 学習内容に応じて、習熟度別の少人数による指導を行っていますか。(算数・数学)

13	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
年間の授業のうち、およそ 3/4 以上で行った	29	8.7%	11	6.7%
年間の授業のうち、およそ 1/2 以上 3/4 未満で行った	21	6.3%	5	3.1%
年間の授業のうち、およそ 1/4 以上 1/2 未満で行った	24	7.2%	13	8.0%
年間の授業のうち、およそ 1/4 未満で行った	52	15.7%	22	13.5%
行っていない	206	62.0%	112	68.7%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
年間の授業のうち、およそ 3/4 以上で行った	15	4.5%	8	4.8%
年間の授業のうち、およそ 1/2 以上 3/4 未満で行った	18	5.4%	5	3.0%
年間の授業のうち、およそ 1/4 以上 1/2 未満で行った	19	5.7%	9	5.4%
年間の授業のうち、およそ 1/4 未満で行った	83	24.7%	34	20.4%
行っていない	201	59.8%	111	66.5%

14 コンピュータ等の情報通信技術(パソコン、タブレット端末、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネット等)を活用した授業を1クラス当たりどの程度行っていますか。

14	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
週1回以上	89	26.8%	59	36.2%
月1回以上	181	54.5%	60	36.8%
学期に1回以上	60	18.1%	40	24.5%
ほとんど、または、全く行っていない	2	0.6%	4	2.5%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
週1回以上	76	22.6%	42	25.1%
月1回以上	193	57.4%	59	35.3%
学期に1回以上	66	19.6%	58	34.7%
ほとんど、または、全く行っていない	1	0.3%	8	4.8%

【家庭学習】

15 授業と連動した家庭学習の課題(宿題)を、計画的に出していますか。(小5算数、中2数学・英語)

15	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
出している	280	84.3%	100	61.3%
どちらかといえば出している	50	15.1%	60	36.8%
あまり出していない	2	0.6%	3	1.8%
出していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
出している	189	56.3%	69	41.3%
どちらかといえば出している	123	36.6%	75	44.9%
あまり出していない	24	7.1%	22	13.2%
出していない	0	0.0%	1	0.6%

16 家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えていますか。

16	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
与えている	67	20.2%	21	12.9%
どちらかといえば与えている	173	52.1%	74	45.4%
あまり与えていない	92	27.7%	66	40.5%
与えていない	0	0.0%	2	1.2%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
与えている	34	10.1%	6	3.6%
どちらかといえば与えている	204	60.5%	56	33.5%
あまり与えていない	99	29.4%	104	62.3%
与えていない	0	0.0%	1	0.6%

17 基礎的内容の問題に、年間を通じて計画的・継続的に取り組ませていますか。

17	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組ませている	263	79.2%	92	56.4%
どちらかといえば取り組ませている	67	20.2%	64	39.3%
あまり取り組ませない	2	0.6%	7	4.3%
取り組ませない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組ませている	212	62.9%	71	42.5%
どちらかといえば取り組ませている	119	35.3%	81	48.5%
あまり取り組ませない	6	1.8%	15	9.0%
取り組ませない	0	0.0%	0	0.0%

18 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか。

18	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
共通理解を図っている	221	66.6%	81	49.7%
どちらかといえば共通理解を図っている	99	29.8%	67	41.1%
あまり共通理解を図っていない	12	3.6%	15	9.2%
共通理解を図っていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
共通理解を図っている	189	56.1%	65	38.9%
どちらかといえば共通理解を図っている	139	41.2%	80	47.9%
あまり共通理解を図っていない	7	2.1%	22	13.2%
共通理解を図っていない	2	0.6%	0	0.0%

19 保護者に対して、児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。

19	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
行っている	219	66.0%	63	38.7%
どちらかといえば行っている	109	32.8%	82	50.3%
あまり行っていない	4	1.2%	18	11.0%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
行っている	164	48.7%	35	21.0%
どちらかといえば行っている	164	48.7%	110	65.9%
あまり行っていない	9	2.7%	22	13.2%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

【学校の取組】

20 県学習定着度状況調査について、目標を設定して計画的に取り組みましたか。

20	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組んだ	206	62.0%	66	40.5%
どちらかといえば取り組んだ	117	35.2%	89	54.6%
あまり取り組めなかった	9	2.7%	8	4.9%
取り組めなかった	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組んだ	148	43.9%	35	21.0%
どちらかといえば取り組んだ	186	55.2%	124	74.3%
あまり取り組めなかった	2	0.6%	5	3.0%
取り組めなかった	1	0.3%	3	1.8%

21 昨年度の調査結果を参考にするなどして、分かる授業の工夫・改善に取り組んでいますか。

21	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組んだ	189	56.9%	75	46.0%
どちらかといえば取り組んだ	139	41.9%	85	52.1%
あまり取り組めなかった	4	1.2%	3	1.8%
取り組めなかった	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組んだ	135	40.1%	41	24.6%
どちらかといえば取り組んだ	198	58.8%	117	70.1%
あまり取り組めなかった	4	1.2%	9	5.4%
取り組めなかった	0	0.0%	0	0.0%

22 昨年度の学習状況調査等の結果を活用し、学力向上などの自校の教育活動を改善しましたか。

22	小学校		中学校	
改善した	169	50.9%	55	33.7%
どちらかといえば改善した	156	47.0%	105	64.4%
あまり改善していない	7	2.1%	3	1.8%

小学校		中学校	
79	23.4%	19	11.4%
249	73.9%	141	84.4%
9	2.7%	7	4.2%

23 昨年度の県学調の結果を全国学調と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか。

23	小学校		中学校	
行った	175	52.7%	53	32.5%
どちらかといえば行った	145	43.7%	96	58.9%
あまり行っていない	12	3.6%	14	8.6%

小学校		中学校	
54	16.0%	11	6.6%
268	79.5%	144	86.2%
15	4.5%	12	7.2%

24 県学調・全国学調の問題の一部を、全教員で解いてみる時間を設定しましたか。

24	小学校		中学校	
設定し、実施した	225	67.8%	51	31.3%
設定し、年度中に実施予定である	97	29.2%	85	52.1%
設定していない	10	3.0%	27	16.6%

小学校		中学校	
187	55.5%	28	16.8%
125	37.1%	81	48.5%
25	7.4%	58	34.7%

25 授業改善に向けて、校内研修に位置付けた教員相互の授業参観に取り組んでいますか。

25	小学校		中学校	
取り組んでいる	265	79.8%	112	68.7%
どちらかといえば取り組んでいる	54	16.3%	41	25.2%
あまり取り組んでいない	11	3.3%	10	6.1%
取り組んでいない	2	0.6%	0	0.0%

小学校		中学校	
145	43.0%	65	38.9%
127	37.7%	70	41.9%
58	17.2%	31	18.6%
7	2.1%	1	0.6%

26 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。

26	小学校		中学校	
ほぼ毎日	210	63.3%	57	35.0%
週に2～3回程度	100	30.1%	76	46.6%
月に数回程度	22	6.6%	29	17.8%
ほとんど行っていない	0	0.0%	1	0.6%

小学校		中学校	
197	58.5%	42	25.1%
114	33.8%	87	52.1%
26	7.7%	36	21.6%
0	0.0%	2	1.2%

27 Gアップシートを活用(授業の補充、家庭学習等)していますか。

27	小学校		中学校	
いる(中学校)			147	90.2%
いない(中学校)			16	9.8%

小学校		中学校	
		154	92.2%
		13	7.8%

28 昨年度の県学習定着度状況調査の「集計・分析シート」の内容等から、学習に関する状況や課題を全ての教員で共有し、学校として組織的に課題の分析や指導方法の改善等に取り組んでいますか。

28	小学校		中学校	
取り組んでいる	150	45.2%	56	34.4%
どちらかといえば取り組んでいる	170	51.2%	97	59.5%
あまり取り組んでいない	12	3.6%	10	6.1%
取り組んでいない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
71	21.1%	20	12.0%
241	71.5%	128	76.6%
25	7.4%	19	11.4%
0	0.0%	0	0.0%

29 昨年度の「調査結果活用レポート」に記載した調査結果の分析内容や目標設定、取組計画などについて、年度をまたいで教職員間で共有し、指導改善に向けて活用していますか。

29	小学校		中学校	
活用している	137	41.3%	44	27.0%
どちらかといえば活用している	172	51.8%	98	60.1%
あまり活用していない	23	6.9%	21	12.9%
活用していない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
52	15.4%	10	6.0%
238	70.6%	119	71.3%
47	13.9%	38	22.8%
0	0.0%	0	0.0%

30 平日の部活動や父母会の活動、スポーツ少年団等の活動について、部活動顧問や父母会・スポーツ少年団活動の責任者や指導者等に対して児童生徒の帰宅時刻が遅くならないよう、学校からの働きかけをしていますか。

30	小学校		中学校	
している	30	9.0%	66	40.5%
どちらかといえばしている	59	17.8%	60	36.8%
あまりしていない	114	34.3%	22	13.5%
していない	74	22.3%	4	2.5%
帰宅時刻が遅くなる活動はない	55	16.6%	11	6.7%

小学校		中学校	
12	3.6%	41	24.6%
61	18.1%	83	49.7%
148	43.9%	30	18.0%
57	16.9%	1	0.6%
59	17.5%	12	7.2%

31 県学調、(中学校新入生学調)、全国学調について、調査結果の児童生徒個別シートを速やかに返却していますか。

31	小学校		中学校	
返却している	327	98.5%	156	95.7%
返却していない	5	1.5%	7	4.3%

小学校		中学校	
320	95.0%	157	94.0%
17	5.0%	10	6.0%

32 県学調、(中学校新入生学調)、全国学調について、調査結果の児童生徒個別シートを用いた学習相談等の機会を設定していますか。

32	小学校		中学校	
設定している	136	41.0%	65	39.9%
設定していない	196	59.0%	98	60.1%

小学校		中学校	
129	38.3%	70	41.9%
208	61.7%	97	58.1%